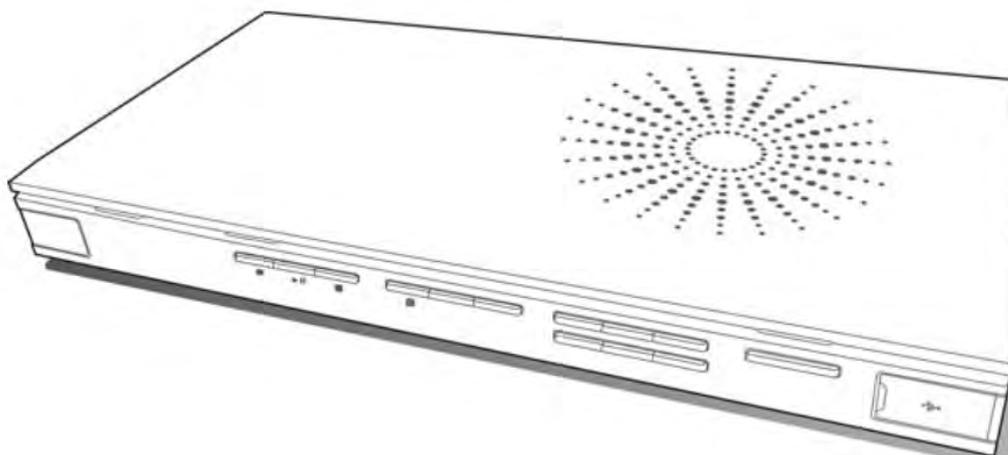


VS-LC102 CaptureVision Station

日本語ユーザーマニュアル



【 重 要 】

最新のクイックスタートガイド、ユーザーマニュアル、ソフトウェア、ドライバー等をダウンロードするにはメーカーホームページ（英語）をご参照ください。

<http://www.Mylumens.com/support.php>

目次

コピーライトについて	4
Chapter 1 安全の指示	5
Chapter 2 パッケージ内容	6
Chapter 3 製品概要	7
3.1 フロントパネル	7
3.2 リアパネル	7
3.3 パネルキー	8
3.4 ランプ表示	8
3.5 リモコン	9
Chapter 4 システム条件	1
4.1 基本デバイス	1
4.2 推奨デバイス	1
Chapter 5 インストール方法	12
5.1 接続方法	12
5.2 手順	14
Chapter 6 OSD機能	21
6.1 設定メニュー	22
6.2 基本操作	23
Chapter 7 Web機能 - システムコンフィギュレーション	29
7.1 システムコンフィギュレーション	30
7.1.1 システム情報	30
7.1.2 映像ソース設定	31
7.1.3 ネットワーク設定	32
7.1.4 録画設定	32
7.1.5 ローカルストレージ設定	34
7.1.6 レイアウトマネージャー	34
7.1.7 レクチャーマネージャー・コンフィギュレーション	35
7.1.8 フォトマネージャー	35
7.1.9 スケジュールマネージャー・コンフィギュレーション	36
7.1.10 イベントログ	36
7.1.11 アバウトページ	37
7.2 システムコンフィギュレーションの操作	38
7.2.1 ホスト名の変更	38
7.2.2 システム時刻の変更	38

7.2.3	ソース設定	38
7.2.4	IPカメラの接続	39
7.2.5	ボリューム調整	41
7.2.6	映像内にロゴや他の映像を追加する	41
7.2.7	ストレージデバイス設定	42
7.2.8	レイアウト管理	43
7.2.9	スケジュールマネージャー	45
7.2.10	レクチャーマネージャー	45
7.2.11	レクチャーキーノートを編集する	46
7.2.12	ユーザー名&パスワードの変更	46
7.2.13	スクリーンを起動する	47
7.2.14	ネットワーク設定	47
7.2.15	Webページの言語	47
Chapter 8 Webページ機能 - ディレクター		48
8.1	ディレクター操作	49
8.1.1	ディレクターの紹介	49
8.1.2	ディレクターの操作	50
8.1.3	ディレクタースクリーン操作 - 録画設定	51
8.2	ディレクター操作	52
8.2.1	基本の録画操作	52
8.2.2	レイアウト表示変更	52
8.2.3	キーノートの挿入	52
8.2.4	ネットワークカメラコントロール	53
8.2.5	その他の録画設定	53
8.2.6	Webページ言語	53
Chapter 9 Webページ機能 - ビューワー		54
9.1	ページについて	55
Chapter 10 アドバンスド機能メニュー		56
10.1	自動録画のバックアップを有効にする	56
10.1.1	FTP接続の設定	56
10.1.2	バックアップの設定	57
10.2	RTPを使用してスクリーンを共有する	58
10.2.1	RTP共有の設定	58
10.2.2	RTP共有を開始する	58
10.2.3	スクリーン共有を見る	58
10.2.4	オンラインディレクターページを使用してRTP共有を設定する	59
10.3	ライブストリームの方法	60
10.3.1	YouTubeライブストリーミングを有効にする	61
10.3.2	ライブイベントの作成	63
10.3.3	VS-LC102の設定	65

10.3.4	ライブストリーミングを開始する	66
10.4	キーノートの挿入・使用	67
10.4.1	キーノートを挿入する	67
10.4.2	インデックスを修正する	67
10.4.3	キーノートを使用する	68
10.5	PPTのインストールと操作	68
10.5.1	インストール	68
10.5.2	インターフェイスについて	68
Chapter 11	トラブルシューティング	70
添付書類 1		72

コピーライトについて

Copyrights © Lumens Digital Optics Inc. All rights reserved.

Lumens は Lumens Digital Optics社の登録商標です。

Lumens Digital Optics社の許可なく、このファイルを複写、複製、送信することはできません。
製品ご購入後、バックアップの目的で複写することは別とします。

製品の改良のため、Lumens Digital Optics社は予告なく製品の仕様を変更する権利を有します。
このファイル内の情報も予告なく変更される対象となります。

製品の使い方を十分に説明・表現するため、マニュアル内において他の製品名や会社名について故意の侵害なく言及する場合があります。

保証の免責：Lumens Digital Optics社は技術的・編集不備において、あるいはこのファイルを提供し、この製品を使用・操作することによって生じた間接・関連損害に対して責任を負いません。

Chapter 1 安全の指示

下記の安全の指示に従って製品を使用してください：

1 操作

- 1.1 推奨の動作環境のもとで製品を使用してください
- 1.2 傾斜した位置に製品を設置しないでください
- 1.3 不安定な台車、台、卓上に製品を設置しないでください
- 1.4 水や熱源の近くで製品を使用しないでください
- 1.5 推奨の付属品のみを使用してください
- 1.6 製品に表示されている電源タイプを使用してください
電源タイプがわからない場合は担当のディーラーや地域の電気会社にご相談ください
- 1.7 プラグを取扱いはスパークや火事を防ぐため下記の対策をとってください
 - プラグをソケットに挿入する前にごみがついていないか確認してください
 - プラグがソケットにしっかり挿入されているか確認してください
- 1.8 危険回避のためコンセント、延長コード、マルチウェイ・差込プラグ盤がオーバーロードしないようにしてください
- 1.9 十分に通気できないと製品の過熱を引き起こす可能性があるため、スロットや隙間を塞がないようにしてください
- 1.10 このユーザーマニュアルで指示されている事項を除いて、自分でカバーを開けたり取り外そうとしないでください - 感電などの危険にさらされるかもしれません
認可を受けたサービススタッフに全てのサービスを問い合わせてください。
- 1.11 次のことが起きた場合は製品をコンセントから抜き、認可を受けたサービススタッフに問い合わせてください：
 - 電源コードが損傷したり擦り切れている場合
 - 製品に液体をこぼしたり、雨や水にさらしてしまった場合

2 保管

- 2.1 コードを踏みそうな場所に製品を置かないでください
リードやプラグが擦り切れたり損傷する原因となります
- 2.2 キャビネットスロットには何も押し込まないでください
どんな液体も製品内に流出しないようにしてください
- 2.3 雷雨のとき、また長期間使用しないときにはプラグを抜いてください
- 2.4 振動する機材や熱をもつ物の上に製品やアクセサリーを置かないでください

3 クリーニング

- 3.1 クリーニング前に全てのケーブルを抜いてください - クリーニングには湿った布を使います
リキッドやエアゾールタイプのクリーナーは使用しないでください

4 リモコン (アクセサリーが付いている場合)

- 4.1 間違った電池をリモコンに使用すると故障の原因になります
使用済み電池の処分方法については地域の指示に従ってください

■ FCC (米連邦通信委員会) 警告

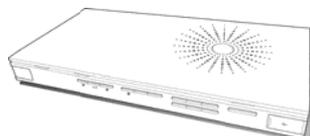
この製品は試験の結果、FCC規則 第15-J条 の Class B デジタルデバイス制限に準拠しています。
この制限は商業設備における有害な干渉から保護するために考案されたものです。

"Digital Apparatus" (ICES-003 of Industry Canada) と題された、干渉を引き起こす機材基準で示されるように、このデジタル装置はデジタル装置からの電波ノイズ放出においてClass B 制限を上回りません。

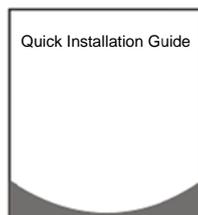
Cet appareil numérique respecte les limites de bruits radioélectriques applicables aux appareils numériques de Classe B prescrites dans la norme sur le matériel brouilleur: "Appareils Numériques," NMB-003 édictée par l'Industrie.

Chapter 2 パッケージ内容

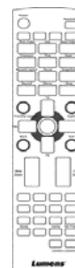
VS-LC102



クイックインストールガイド



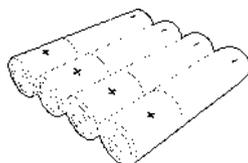
リモコン



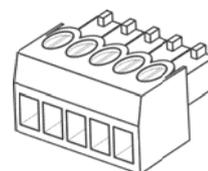
電源アダプター



電池 ×4



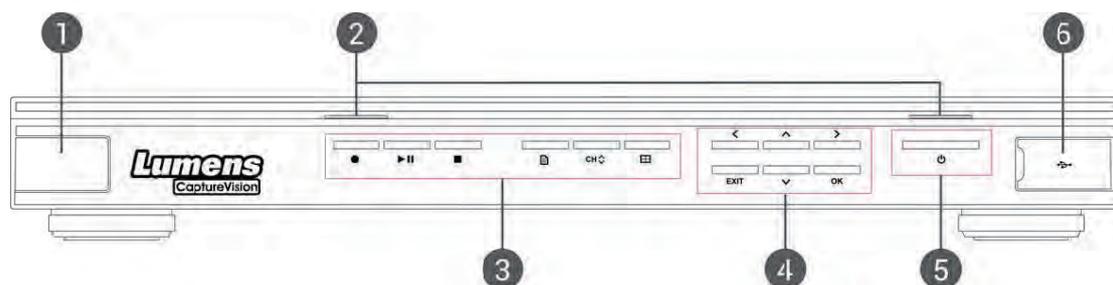
DIDOコネクター



国 / 地域により
外観が異なる場合があります

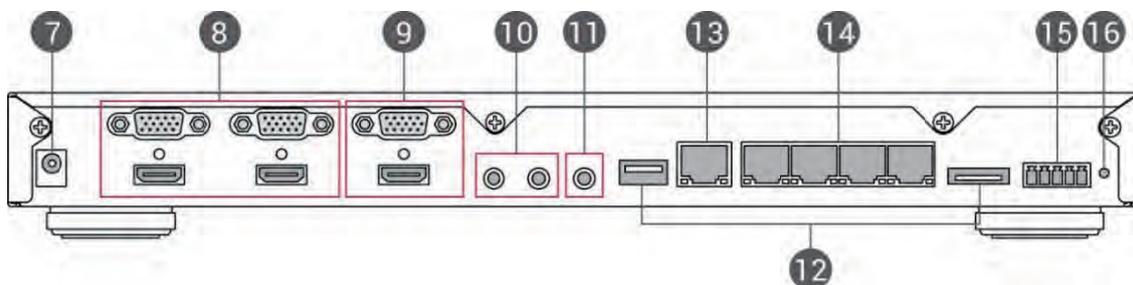
Chapter 3 製品概要

3.1 フロントパネル



NO.	名称	機能説明
1.	リモートコントロールレシーバー	赤外線リモコン受信エリア
2.	インジケータ	録画 / 電源
3.	ファンクションショートカット	録画 / 再生 / 一時停止 / 停止 / メニュー / チャンネル / レイアウト表示
4.	選択操作	上 / 下 / 左 / 右 / 戻る / OK
5.	電源ボタン	電源スイッチ
6.	USBポート	USBドライブでファイルのエクスポート、またはファームウェアのアップデートを行う

3.2 リアパネル

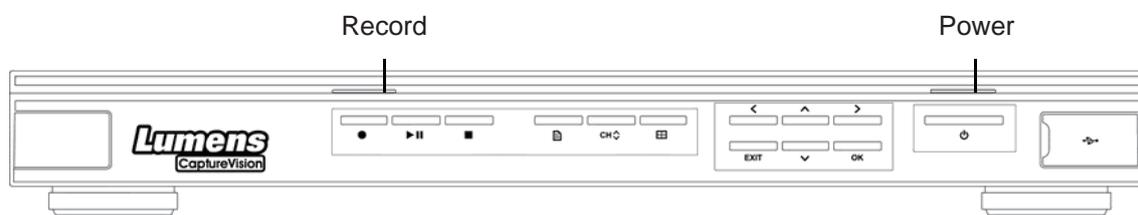


NO.	名称	機能説明
7.	電源	12V / 2A
8.	画像入力	VGA / HDMIデバイス画像入力 メモ: デバイス画像入力用の DVI to HDMI アダプター または VGAアダプターと互換性があります。
9.	画像出力	VGA / HDMIデバイス画像出力
10.	オーディオ入力	Line / MIC デバイスオーディオ入力
11.	オーディオ出力	アンプへの伝送はラインオーディオ出力
12.	ハードディスク入力	ハードディスク収容用USB / eSATAインターフェイス
13.	WAN	LANアクセス
14.	LANポート	1. IPカメラ用画像入力 2. PCへのダイレクト接続用 (オンライン管理操作)
15.	DIDO	RS-232コントロールシグナルポート
16.	リセット	工場出荷時の設定にリセットする

3.3 パネルキー

NO.	Icon	名称	機能説明
1.	⏻	電源	ON / OFF
2.	●	録画	録画開始
3.	▶	再生/一時停止	動画再生 / 一時停止
4.	■	停止	再生を停止 / 録画終了
5.	☰	メニュー	メインメニューを開く : 再生 / 録画 / 設定
6.	CH↕	チャンネル	チャンネル変更
7.	田	レイアウト表示	再生中にモニターレイアウトを変更する
8.	∧∨〈〉	選択キー	上下左右ボタンでアイテムを選択
9.	OK	OK	メニュースクリーン内のアイテムを実行する 再生中にディスプレイウィンドウを拡大する
10.	↶	戻る	前のメニューにもどる / 選択をキャンセルする

3.4 ランプ表示



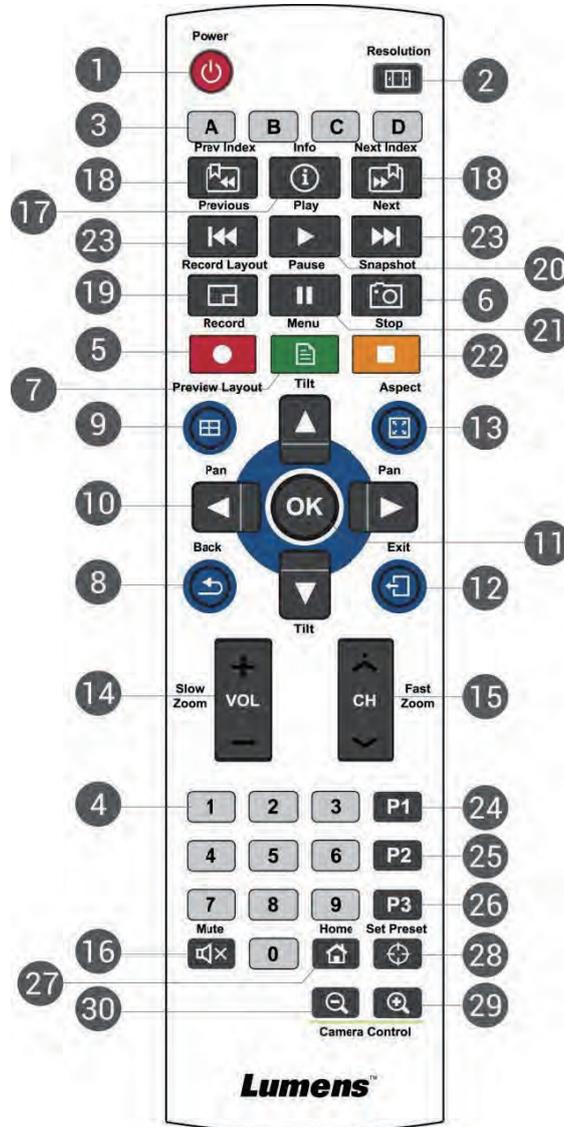
Indicator	ランプ表示	説明
Record	オレンジのライトが点灯	録画中
Power	赤のライトが点灯	スタンバイモード
	赤と緑のライトが交互に点滅	起動中
	緑のライトが点灯	起動完了
	赤のライトが点滅	ファンの異常
	緑のライトが一回点滅	リモートコントロール・コマンドを受信

3.5 リモコン

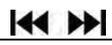
リモコンは製品フロントパネルの赤外線受信エリアに向けて使用し、信号を受信できるようにしてください。
リモコンの有効角度は±30°で、垂直範囲は10m以内です。

メモ1 : Web上で製品を操作している間、リモコンとパネルコマンドは無効になります。

メモ2 : Webcamチャンネルがフルスクリーンモードに切り替わるとカメラコントロール機能が有効になります。



NO.	Icon	名称	機能説明
1.	🔌	電源	ON / OFF
2.	📏	縦横比	自動解像度の検出・調整
3.	A B C D	A B C D	A : エクスポートUSBドライブを終了する B - D : ファンクションキー (各操作指示を参照ください)
4.	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	数字キー	カメラのプリセット設定
5.	●	録画	録画開始
6.	📷	スナップショット	スクリーンショットをキャプチャーし画像ファイルとして保存
7.	📄	メニュー	メニューを開く / 終了する

NO.	Icon	名称	機能説明
8.		戻る	前のメニューに戻る / 選択解除
9.		レイアウト表示	再生中にモニターレイアウトを変更する
10.		上/下/左/右	LC102：上下左右のボタンでアイテムを選択 カメラ：カメラレンズを回転する
11.	OK	OK	メニューアイテムを選択・有効にする
12.		終了	全ての設定 / ダイアログウィンドウを終了し ディスプレイウィンドウに戻る
13.		ディスプレイの最大表示	連続切り替えで全チャンネルのウィンドウを最大化する
14.	VOL	ボリューム / スローズーム	LC102：ボリュームを調整する カメラ：画像サイズを微調整する
15.	CH	チャンネル / ファストズーム	LC102：レイアウトチャンネルを切り替える カメラ：画像サイズを調整する
16.		ミュート	音を消す
17.		情報	詳細の動画情報を表示
18.		前のキーノートへ 次のキーノートへ	再生中にキーノートを選択してチャプターを切り替える メモ：この機能を有効にするにはあらかじめ動画内に キーノートを挿入する必要があります
19.		レコーディング レイアウト	録画中にスクリーンレイアウトを変更する
20.		再生	動画を再生する 再生中に動画を一時停止するにはこのキーを押す
21.		一時停止	動画再生/録画を一時停止する
22.		停止	動画再生/録画を停止する
23.		前へ / 次へ	再生中に前の/次の動画にスキップする
24.	P1	P1	予約
25.	P2	P2	予約
26.	P3	P3	予約
27.		ホーム	カメラ：最初のポジションに戻る
28.		プリセット設定	カメラ：デフォルトのポジションを設定する
29.		ズームイン	カメラ：画像にズームイン
30.		ズームアウト	カメラ：画像にズームアウト

Chapter 4 システム条件

インターネットでリモート操作する場合は次の推奨ブラウザを使用してください。

Browser	Version	OS	
		Windows	MAC
FireFox	33.03 以上	Yes	Yes
IE	IE9 以上	Yes	NA
Safari	7.1 以上	NA	Yes
360 Safe Browsing	7.1 以上 (スピードモードのみ対応)	Yes	NA

4.1 基本デバイス

- VS-LC102 x 1
- PC (またはノートPC) x 1
- ルーター x 1 (ギガルーターを推奨)
- Lumens Webcam x 1-3 (例 : VC-A20P x 3)
- ネットワークケーブル x 3-5
- HDMI / VGA ケーブル x 2
- スピーカー x 1
- マイクロフォン x 1

4.2 推奨デバイス

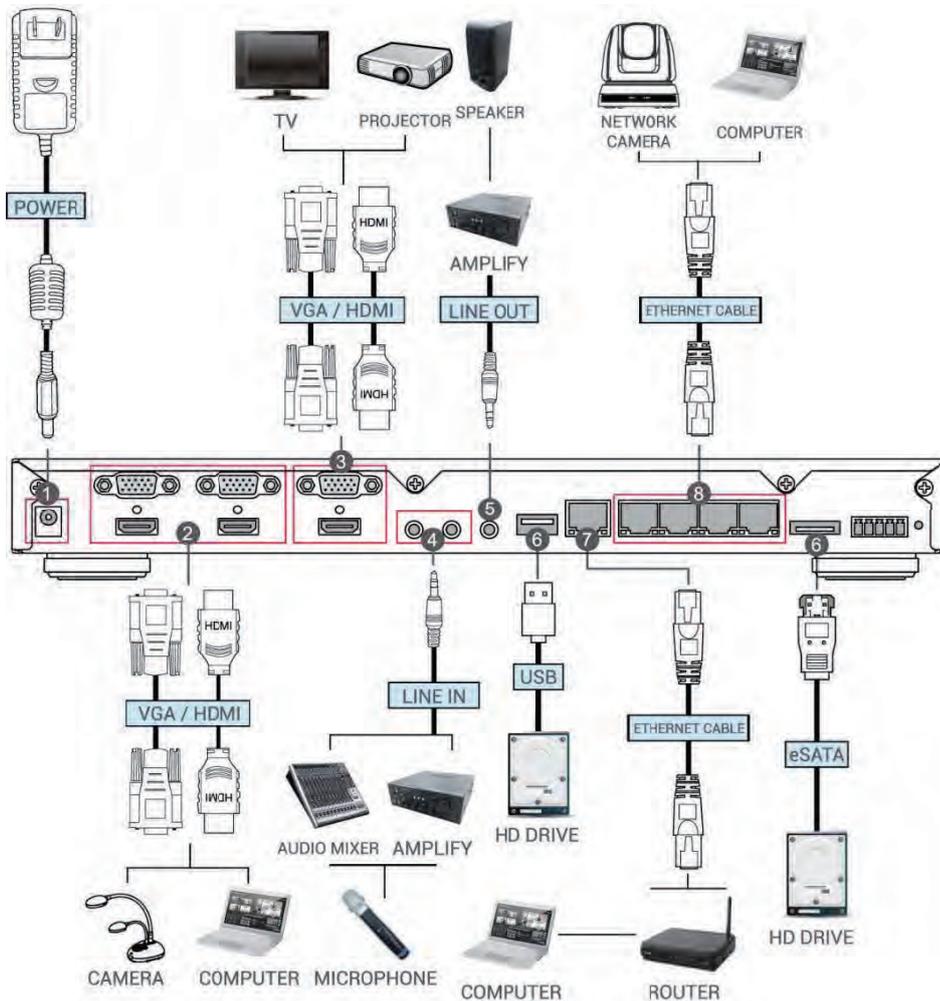
- ディスプレー x 1
- アンプ x 1
- ミキサー x 1

メモ : 接続デバイスは環境ニーズに基づいて数量を増やすなど調整できます。

Chapter 5 インストール方法

5.1 接続方法

- 下記に従ってデバイスに接続してください。



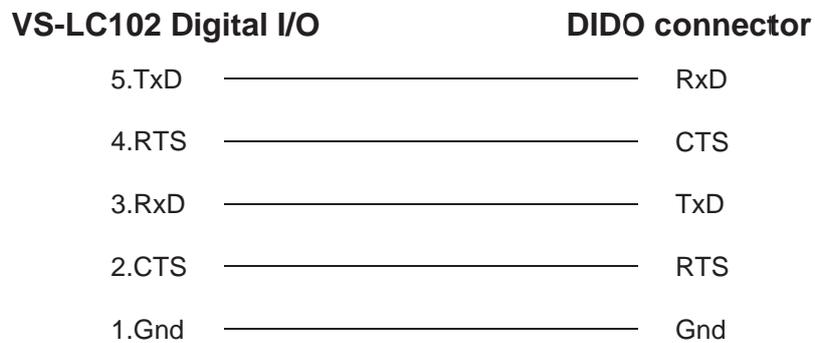
NO.	機能	接続方法
1.	電源	電源コードを接続する
2.	画像入力	PCの画像出力ケーブルを画像入力ポート（HDMI IN / VGA IN）に接続し、HDMIまたはVGA接続を確立する メモ：カメラやプロジェクターなどのデバイスも画像入力デバイスとしてPCに置き換えることができます。
3.	画像出力	HDMI OUTとテレビ画面のHDMIを接続する メモ：テレビがHDMI非対応の場合、テレビの仕様に合わせたアダプターを使用します。
4.	オーディオ入力	アンプ、ミキサー、マイク等のラインデバイスのオーディオ入力ケーブルを接続する
5.	オーディオ出力	アンプ等のラインデバイスのオーディオ出力ケーブルを接続する
6.	ストレージデバイス	ストレージデバイスとしてUSBまたはeSATA外部ハードドライブを挿入する
7.	WAN	VS-LC102をリモートコントロールするためWANポートをルーターとPCに接続する メモ：はじめにPCをLANポート(8)に接続してください。また外部ネットワーク設定完了後にPCをルーターに接続します。

8.	LANポート	1. IPカメラ（例：VC-A20P）を画像入力として接続する 2. オンライン管理のためPCにダイレクト接続する 初期使用の場合は追加操作のためポートを接続してください
9.	Digital I/O	RS232デバイスを接続する

5.1.1 Digital I/O ピン説明

Pin NO.	Function
1	Gnd
2	CTS
3	RxD
4	RTS
5	TxD

5.1.2 Digital I/O 接続説明



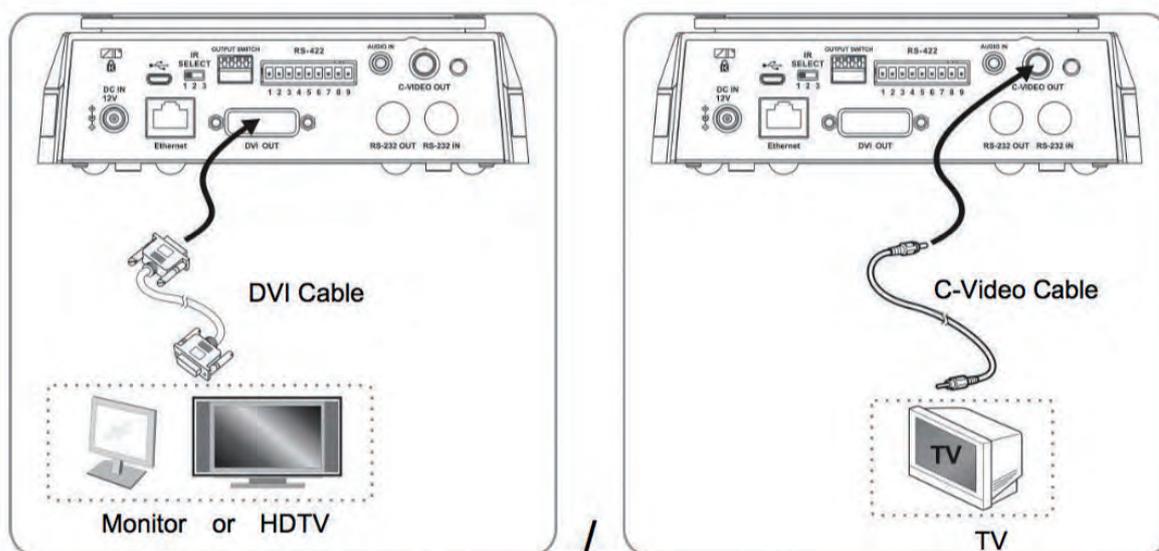
5.2 手順

5.2.1 VC-A20Pネットワーク設定の確認・設定を行う

- C-VideoもしくはDVIケーブルを使用してVC-A20Pをモニターに接続する
(接続方法は接続図を参照してください)
- 起動後、VC-A20Pリモートコントロールの **[MENU]**  を押してOSDメニューを開く
- **[Ethernet]** にスクロールダウンし、**[↵]** を押す
- **[↵]** を押して **[DHCP]** 設定スクリーンを開き、**[DHCP]** が **[Closed]** にセットされていることを確認する
- **[MENU]**  を押して **[DHCP]** 設定スクリーンを終了する
- デフォルトの **[IP Address]** が **[192.168.100.150]** の設定になっているか確認する

メモ : VC-A20Pを2台以上設置する場合、IPアドレスを **[192.168.100.x]** の連番に変更する
例 : **[192.168.100.151]** **[192.168.100.152]**...

- IPアドレスの確認・修正が完了したら、**[MENU]**  を繰り返し押し続けてOSDメニューを終了する



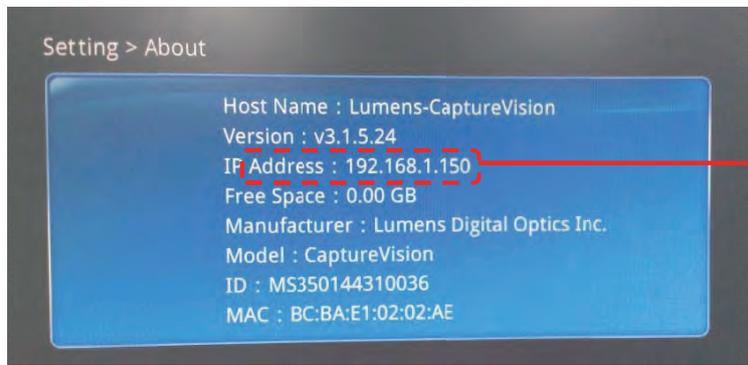
メモ : VC-A20Pの詳細な操作方法については、Lumensウェブサイトから [VC-A20P User Manual](#) をダウンロードしてください。

✦ 下記の設定に進む前に、[5.1 接続方法](#) の作業を完了させるようにしてください。

5.2.2 VS-LC102 IPアドレスを確認する

- VS-LC102リモートコントロール上の  ボタンを押してOSDメニューを開く
- 右へスクロールして **[Setting]** → **[OK]** を押して設定画面を開く
- 下へスクロールして **[About]** → **[OK]** を押して **[About]** ページを開きIPアドレスを確認する
-  ボタンを繰り返し押し続けてOSDメニューを終了する

メモ : IPアドレスが 169.175.x.x と表示された場合は接続とルーター設定をご確認ください。



VS-LC102
IP Address

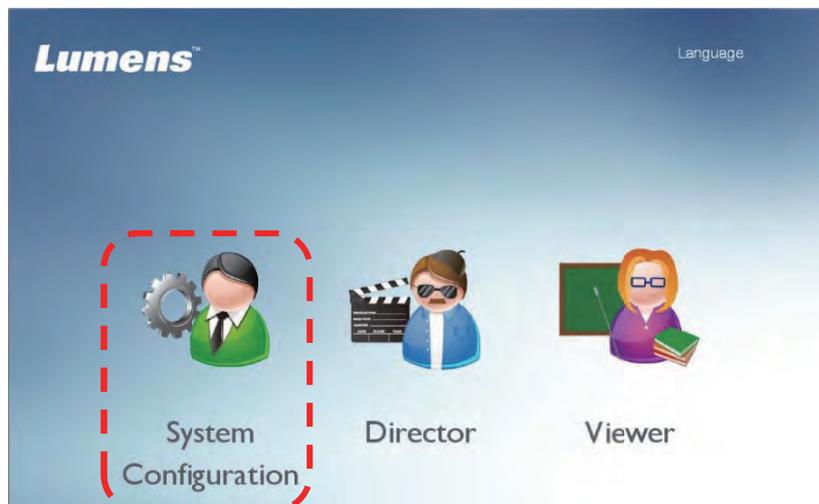
5.2.3 VS-LC102 Webページへの接続（ログイン含む）

メモ1：初期設定の際はPCをVS-LC102 LANポートへダイレクトに接続してください。
自動でIPアドレスを取得できます。

- PCのインターネットブラウザを開く

メモ2：ブラウザには Firefox または Safari (MAC向け) がおすすめです。

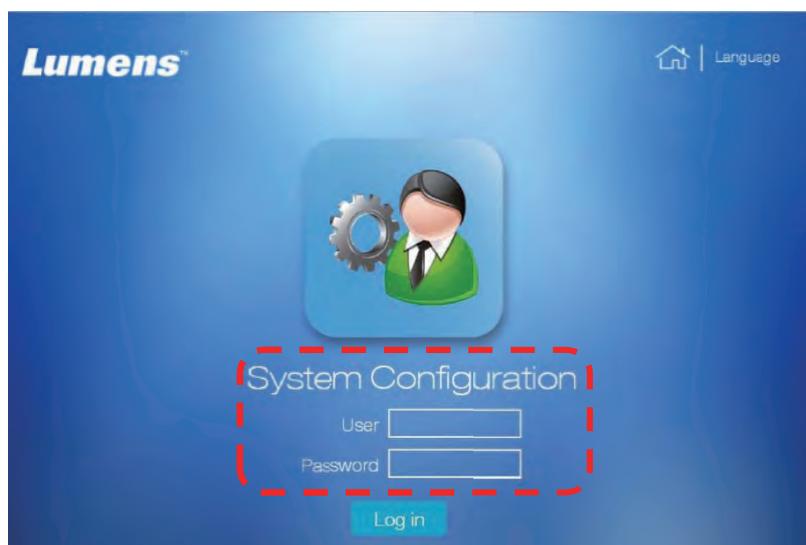
- VS-LC102 IPアドレスを入力する；（例）<http://192.168.1.150>（デフォルトのIPアドレス）
- **[System Configuration]** を選択する



- VS-LC102 Admin username と password を入力する

User: **admin**

Password: **admin**



- [Log in] をクリックしてSystem Configurationを開く

5.2.4 設定

1 時刻設定の確認



- 時刻設定を確認する
時刻の修正が必要な場合、手動で設定する（または他のNTPサーバーから選択）

2 ハードディスクのステータス確認

- [Local Storage Setting] を開く



- ハードディスクのステータスを確認し、ステータスに応じて設定する：

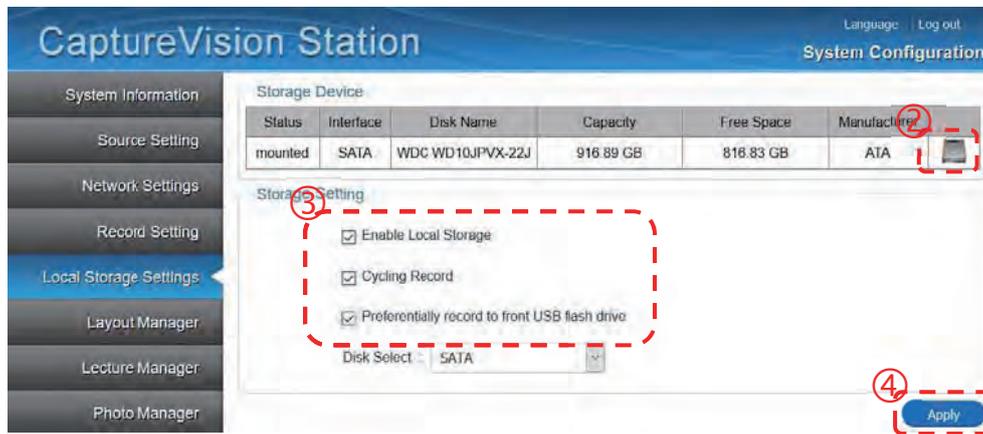
Unformatted :  をクリックしてハードディスクをフォーマット化する

- ・この操作はストレージのデバイスフォーマットによって数分かかります。
- ・操作が完了するまでページを閉じないようにしてください。
- ・ハードディスクを全消去してしまうので、フォーマット化する前にハードディスクのバックアップをとってください

Unmounted : 下記の指示に従ってハードディスクをマウントする

Mounted : ここのステップをスキップしてカメラに接続する

- ハードディスクをマウントするため [Enable Local Storage] にチェックを入れる
- ハードディスクの容量を循環させるため [Cycling Record] にチェックを入れる
 - ・ハードディスクの容量がいっぱいの場合、一番古いデータが自動的に新しいデータに書き換えられ、システムは情報を保存し続けることができます。
- [SATA/USB/eSATA] ディスクを選択し、任意のストレージディスクを選ぶ
 - ・[SATA] は内蔵ハードディスク用
 - ・[USB/eSATA] は外部ハードディスク用
- [Apply] をクリックして設定を適用
- ストレージデバイスのステータスが [Mounted] になっていれば設定完了



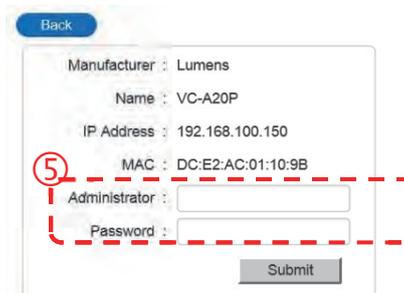
3 IPカメラの接続



- [Source Setting] を開く
- [Discovery] から [Refresh] をクリック
- サーチが完了するとカメラリストが表示されるので  を選択
- VC-A20Pのアカウントとパスワードを入力する

Administrator: `admin`

Password: `9999`



- [Submit] をクリックし、カメラステータスが [OK] に変わるまで待つ



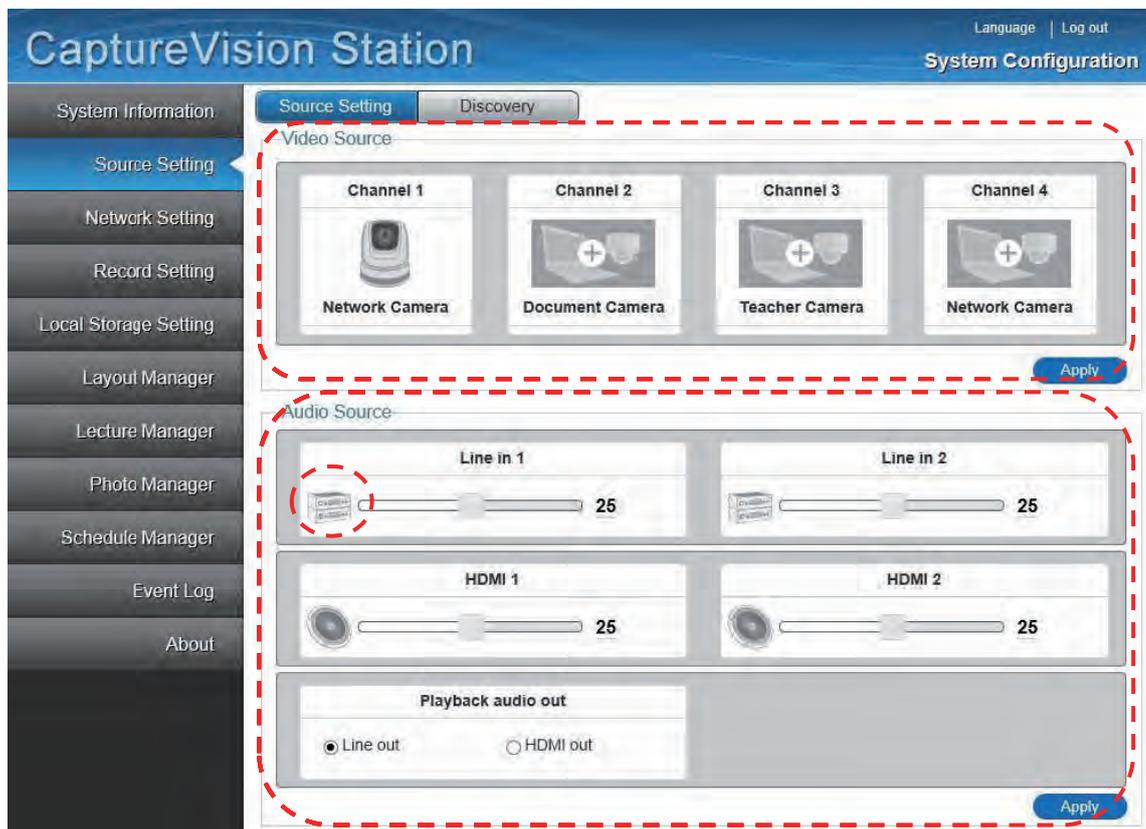
4 画像入力の設定



- **[Source Setting]** をクリックして
映像素材をCH1、CH2、CH3、CH4にセットする
- **[Channel 1]** をクリックしてチャンネル名に **[Computer]** を選択、 を押して
Video Setting は **[Video Port]**、Video Port は **[HDMI1 or VGA1]** をそれぞれ選択



- CH2 : IPカメラ → Select camera
- CH3 と CH4 に画像入力を選択する
- 右上の **[X]** をクリックして設定画面を閉じる
- **[Apply]** をクリックして設定を適用



5 オーディオ入力設定

- 出力デバイスに応じてオーディオ出力を選択する
(メモ：ラインオーディオ出力が望ましい)
- [Apply] をクリックして設定を適用する

メモ：マイクにライン接続する場合は、 をクリックしてマイク入力  に変更する

6 モニター&レコーディングスクリーン設定

- [Layout Manager] を開く
- [Display Layout] のスタイル設定 - 9種類のスタイルを選択可
- [Record Layout] のスタイル設定 - 9種類のスタイルを選択可

メモ： [7.2.8 レイアウト管理](#) を参照してレイアウト設定をしてください。

上記の設定が完了したら、一度Webページをログアウトします。

5.2.5 様々な設定確認

1 レイアウトスタイルの設定確認

CH1からCH4のスクリーンを確認する - もしスクリーンが設定と異なる場合は [5.2.4 設定 \(画像入力設定\)](#) を参照し、**画像入力**をリセットする

- リモコンの  ボタンを押して、9つのレイアウト録音スタイルが設定通り構成されているか確認する (ブルー表示は現在適用中のスタイル)
 ボタンをもう一度押して終了する
- リモコンの  ボタンを押して、9つのレイアウトスタイルが設定通り構成されているか確認する (ブルー表示は現在適用中のスタイル)
 ボタンをもう一度押して終了する

2 キャプチャースクリーンショット機能の確認

リモコンを使用してキャプチャースクリーンショット機能をテストする
うまくいかない場合は [5.2.4 設定 \(ハードディスクステータスの確認\)](#) を参照し
ハードディスクがきちんとインストールされているかチェックする

- リモコンの  を押してスクリーンショットを撮る

3 録画機能の確認

リモコンを使用して録画機能をテストする
録画がうまくいかない場合は [5.2.4 設定 \(ハードディスクステータスの確認\)](#) を参照し
ハードディスクがきちんとインストールされているかチェックする

- リモコンの ● を押してレコーディングスクリーンにアクセスする
 - をもう一度押して録画を開始する (録画はカウントダウン後にスタートする)
 - を押して録画を終了する

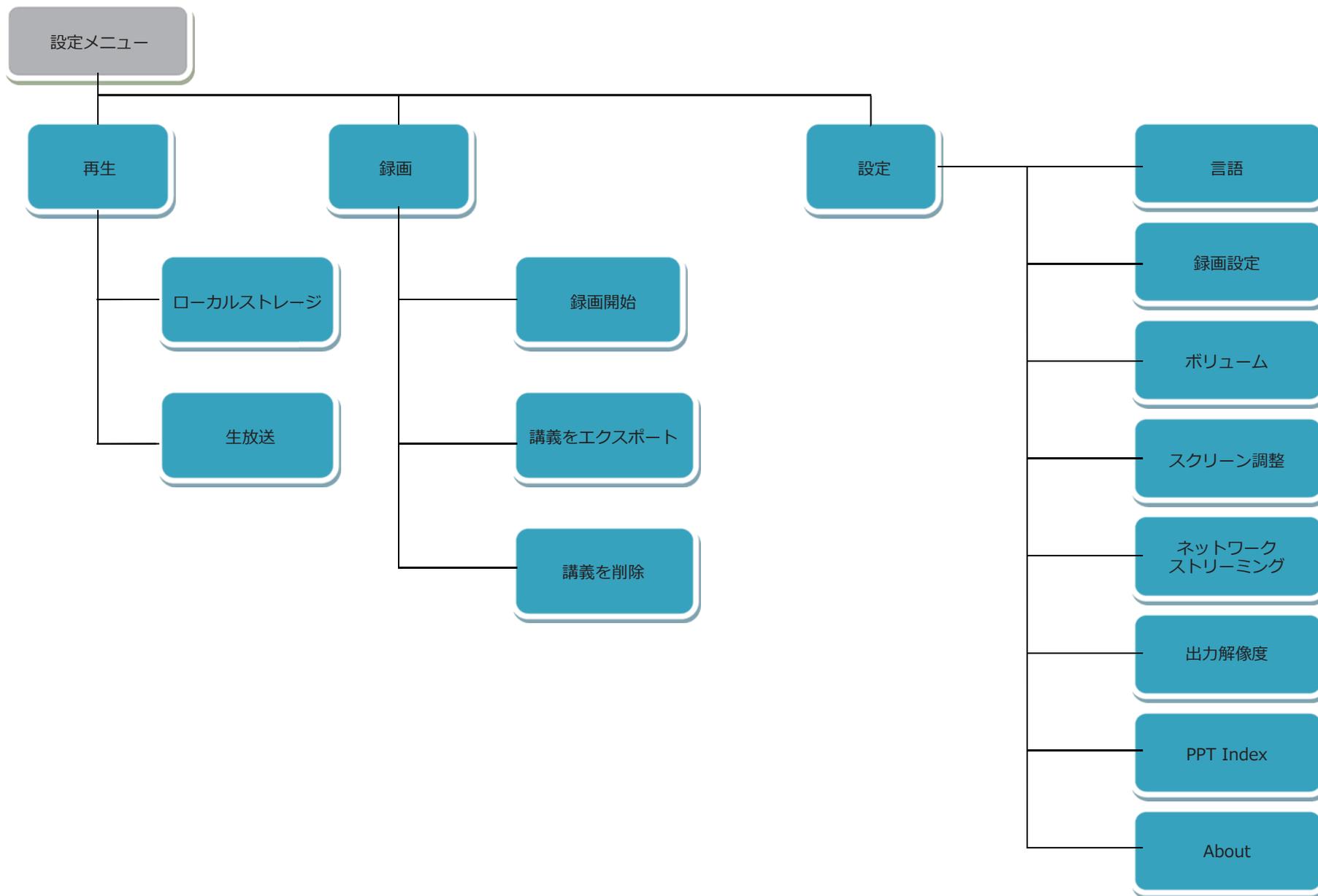
4 再生機能の確認

再生機能を使ってスクリーンショット&録画結果を確認する

- リモコンの  を押してOSDメニューにアクセスする
- [Playback] から [Local Storage] を選択する
- [Photo] から日付ごとのフォルダを選択 > 写真を選択
-  を押して写真ブラウザーを終了する
- [Video] から日付ごとのフォルダを選択 > 再生する動画を選択
- レコーディングスクリーンレイアウトとオーディオが正常かどうか、
映像とオーディオが同期されているか確認する
もし映像とオーディオが同期されていない場合は
System Configuration 内の **Recording Setting** を開きオーディオラグを調整する
再生が同期されるまで録音・再生の作業を繰り返す
-  を押して動画再生を終了する
-  を押してスクリーンを終了する

上記の機能が正常に動作して入ればインストール完了です。

Chapter 6 OSD機能



6.1 設定メニュー

リモコンの [MENU] を押して設定メニューを開く

1st Level Major Items	2nd Level Minor Items	3 rd Level Options	機 能
Playback 再生	Local Storage ローカルストレージ	Video/Photo	保存した映像や画像を表示する
	Live Broadcast 生放送	NA	他のVS-LC102から直接ストリーミングした映像を放送する 関連の設定や利用方法については下記を参照ください 10.2 RTPを使用してスクリーンを共有する
Record 録画	Start Record 録画開始	NA	録画を開始する
	Export Lecture レクチャーのエキスポート	Video/Photo	保存した映像と画像をUSBディスクにエキスポートする
	Delete Lecture レクチャーの削除	Video/Photo	保存した映像と画像を削除する
Setting 設定	Language 言語	1.Traditional Chinese 繁体字中国語 2.Simplified Chinese 簡体字中国語 3.English 英語	設定メニューの言語を変更する
	Record Setting 録画設定	Record Layout レコーディングレイアウト	レコーディングスクリーンの構成を設定する
	Volume ボリューム	1.HDMI 1 2.HDMI 2 3.Line in / Mic 1 4.Line in / Mic 2 5.Output	入出力のボリュームを設定する
	Screen Adjustment スクリーン調整	1.Brightness 明るさ 2.Contrast コントラスト 3.Saturation 彩度 4.Hue 色相 5.Default デフォルト	スクリーンの明るさ / コントラスト / 彩度 / 色相 を調整する
	Streaming ストリーミング	Turn On / Turn Off つける / 消す	ネットワークストリーミング・アドレス
	Resolution 解像度	1.Auto Scan 2.1920x1080[16:9] 3.1280x720[16:9] 4.1280x1024[5:4] 5.1024x768[4:3]	モニターの出力解像度を調整する
	PPT Index	1.Disconnect with PC PCの接続を切る 2.Clear paired PC ペアのPCを解除する	PPT Indexソフトウェアの接続&ペアリング設定はPCの接続やペアリングを解除するために使用する
	About	1.NA	VS-LC102の情報について (例 : IPアドレス、空き容量)

6.2 基本操作

モニターメニュー、リモコン、パネルの基本操作を紹介します。

6.2.1 スクリーンショット または 動画 を見たい

- リモコンの [MENU]  を押してメインメニューにアクセスする
- [◀▶] を使って [Playback] を選択して [OK] を押す
- [▲▼▲▼] を使って [Local Storage] を選択して [OK] を押す
- [▲▼] を使って任意の画像や動画を選択して [OK] で再生する
- [EXIT]  または [Return]  を押して終了する

6.2.2 スクリーンショットをキャプチャーしたい

→リモコンまたはコントロールパネルを使用する：

-  を押してスクリーンショットを撮る

6.2.3 録画を開始したい

→リモコンまたはコントロールパネルを使用する：

- ●を押してレコーディングプレビュースクリーンにアクセスする
- ●または [OK] を押して録画を開始する
- [STOP] ■ をクリックして録画を停止する

→メインメニューを使用する：

- リモコンまたはパネルの [MENU]  を押してメインメニューにアクセスする
- [◀▶] を使って [Record] を選択して [OK] を押す
- [▲▼] を使って [Start Record] を選択して [OK] を押してレコーディングプレビュースクリーンにアクセスする
- [OK] で録画を開始する

→レコーディングプレビューから詳細を見る：

1. **Recording Codec:** 現在のレコーディングフォーマットを表示
2. **Output Resolution:** 現在の解像度を表示
3. **Storage Drive:** ファイルの保存先を表示
4. **Available Space:** ハードディスク上の空き容量を表示
5. **Available Recording Time:** 現在の録画時間の空きを表示
6. **Network Streaming:** ネットワークストリーミングのステータスを表示
7. **Key Note:** キーノートの挿入法を表示
8. **Recording Mode**

* スイッチ録音スクリーンレイアウトの操作については [6.2.6 レコーディングスクリーンレイアウトを切り替える](#) を参照してください。

* カスタムの録音フォーマットの利用方法は [7.1.4 録画設定](#) を参照してください。
(例：レコーディングレイアウト、カウントダウンの長さ、出力解像度ほか)

* オンラインディレクターや録画方式については [8.2 ディレクター操作](#) を参照してください。

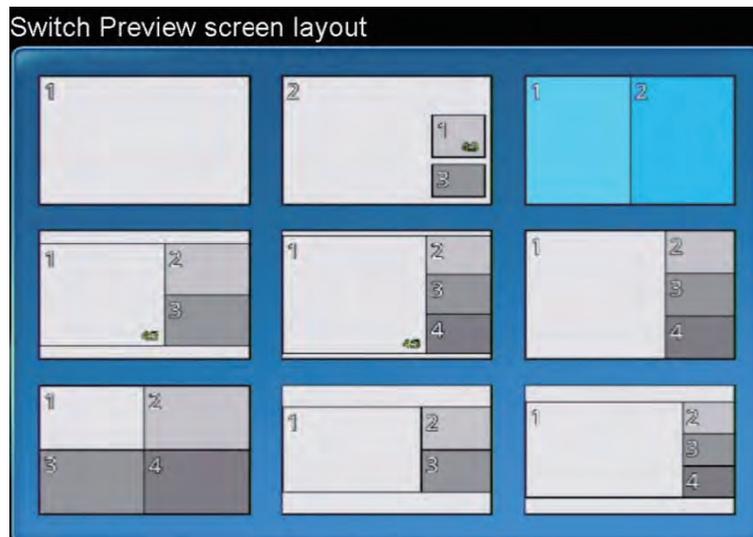
6.2.4 録画中の作業

- リモコンかパネルの **||| / ▶|||** を押して録画を一時停止する
もしくは **■** を押して録画を停止する
- 録画中のキーノート挿入：リモコンの **[C]** を押してキーノートを挿入する
メモ：キーノートに関する他の詳細操作については
[10.4 キーノートの挿入・使用](#) を参照してください。

6.2.5 プレビュースクリーンレイアウトに切り替える

ディスプレイスクリーンはデフォルトでCH1のフルスクリーンに設定されています。ユーザーは任意のチャンネル・レイアウトに変更することができます。もしくは任意のレイアウト設定を再定義できます。関連の説明については [7.2.8 レイアウト管理](#) を参照ください。

- リモコンまたはパネルの **⊞** を押して **[Switch Preview Screen Layout]** にアクセスする
- **[▲▼◀▶]** と **[OK]** を使用してレイアウトを選択する
- レイアウト表示選択後、**[CH]** を押してレイアウト内のチャンネルを選択
* モニターにすでに表示されているチャンネルは変更できません。



6.2.6 レコーディングスクリーンレイアウトを切り替える

レコーディングスクリーンはデフォルトでCH1のフルスクリーンに設定されています。ユーザーは希望のチャンネル・レイアウトに変更することができます。プリセットで9種のレイアウトスタイルが用意されており、任意のレイアウト設定を再定義することもできます。関連の説明については [7.2.8 レイアウト管理](#) を参照ください。

リモートコントロールを使用する：

⊞ を押してプリセットのレコーディングレイアウトを連続して切り替える

メインメニューを使用する：

- リモコンまたはパネルの **[MENU]** **☰** を押してメインメニューにアクセスする
- **[◀▶]** を使って **[Setting]** を選択し **[OK]** を押す
- **[▲▼]** を使って **[Record Setting]** を選択し **[OK]** を押す
- **[Record Layout]** を選択し **[OK]** を押す
- **[▲▼◀▶]** を使って **レコーディングスクリーンレイアウト** を選択し **[OK]** を押す
➡ もしくは **[MENU]** で終了する



6.2.7 チャンネルフルスクリーンモード

チャンネルをフルスクリーンモードに変更する

- リモコンの [▲▼◀▶] を押してチャンネルを選択する
- [OK]を押してチャンネルをフルスクリーンモードに切り替える

もう一度[OK]を押すとチャンネルを元のサイズに戻すことができる

メモ：チャンネルにカメラを選択している場合、VS-LC102でカメラをコントロールできます。

6.2.8 ディスプレイ拡大設定

Layout Display 内の各チャンネルは個々に拡大可能

- リモコンを使ってチャンネルを選択し、フルスクリーンモードに切り替える
- リモコンの  を押してチャンネルの拡大方法を選択する
(Fit to Height / Fit to Width / Fill / Letter Box / Auto Cut)

Icon	名称	説明
	Fit to Height	チャンネルをウィンドウの高さに合わせる
	Fit to Width	チャンネルをウィンドウの幅に合わせる
	Fit to Height and Width	チャンネルをウィンドウの高さ・幅に合わせる
	Original Image	元の出カサイズに戻す
	Maximize Display	チャンネルをウィンドウに合わせて拡大する

6.2.9 スクリーン解像度設定

出力解像度がディスプレイデバイスに合うようにディスプレイスクリーン解像度を調整する
→リモコンを使用する：

-  を押すとモニターに合った最適な設定を自動で検出する

→メインメニューを使用する

- リモコンかパネルの [MENU]  を押してメインメニューにアクセスする
- [◀▶] を使って [Setting] を選択し [OK] を押す
- [▲▼] を使って [Resolution] を選択し [OK] を押す
- [▲▼◀▶] で選択して [OK] を押し解像度を設定する
(1920 x 1080 / 1280 x 720 / 1280 x 1024 / 1024 x 768 / Auto)

Name	Description
1920x1080	フルHD出力
1280x720	HD出力
1280x1024	SXGA出力
1024x768	XGA出力
Auto detection 自動検出	自動検出、また出力デバイスに合わせて最適な解像度に切り替える

6.2.10 画質の設定・調整

画像の明るさ、コントラスト、彩度、色調を調整して
画像の彩度とコントラスト、鮮明さを高め最適な出力を得る

- リモコンかパネルの [MENU]  を押してメインメニューにアクセスする
- [◀▶] を使って [Setting] を選択し [OK] を押す
- [▲▼] を使って [Screen Adjustment] を選択し [OK] を押す
- [▲▼◀▶] を使って様々な設定を選択する、もしくは**デフォルトの設定**に戻す

Name	Description
Brightness 明るさ	輝度値が高いとモニターは明るくなる
Contrast コントラスト	コントラスト値が高いと白/黒が明るくなる
Saturation 彩度	彩度値が高いと色の純度が高くなり、低いとグレーになる
Tone 色調	色調値が低いとスクリーンが青くなり、高いとグリーンになる
Default Settings デフォルト設定	デフォルトの設定に戻す

6.2.11 ボリューム設定

HDMI入力、ライン入力/マイク、出力ボリューム調整

- リモコンかパネルの [MENU]  を押してメインメニューにアクセスする
- [◀▶] を使って [Setting] を選択し [OK] を押す
- [▲▼] を使って [Volume] を選択し [OK] を押す
- [▲▼◀▶] で選択し調整する
-  を押してオーディオ出力をミュートにする

6.2.12 講義をエクスポートしたい

レコーディングしたものと画像は携帯ストレージデバイスにエクスポートでき、ユーザーは簡単に内容を見ることができます。
エクスポートする前にストレージデバイス（携帯フラッシュディスクやハードディスク等）が本体フロントパネルのUSBポートに差し込まれているか確認してください。
エクスポート中は進行メーターが表示されます。
ユーザーはエクスポート中に退出し、バックアップのキャンセルができます。

→リモコンを使用する：

- [MENU]  を押してメインメニューにアクセスする
- [◀▶] を使って [Record] を選択し [OK] を押す
- [▲▼] を使って [Export Lecture] を選択し [OK] を押す
- [▲▼] を使って任意の画像または動画を選択し [OK] を押す
[OK] をもう一度押すと選択をキャンセルできる
- 一度のエクスポートで複数のファイルを選択可能
- [C] を押して全ての選択をキャンセルする
- [D] を押してエクスポートする
[Confirm] を押して [OK] を押すと講義のエクスポートを開始する
-  を押してコースエクスポートをキャンセルする

メモ：良質の映像を見るには VLCプレイヤー が推奨されています。

6.2.13 FTPにファイルをアップロードしたい

この機能を使用する前に、まずFTP接続設定を完了させる必要があります。
[10.1.1 FTP接続をセットする](#) を参照してください。

→リモコンを使用する：

- [MENU]  を押してメインメニューにアクセスする
- [◀▶] を使って [Record] を選択し [OK] を押す
- [▲▼] を使って [Export Lecture] を選択し [OK] を押す
- [▲▼] を使って任意の動画を選択し [OK] を押す
- [OK] をもう一度押すと選択をキャンセルできる
- 一度のエクスポートで複数のファイルを選択可能
- [C] を押して全ての選択をキャンセルする
- [D] を押してエクスポート、[OK] を押すと講義のエクスポートを開始する
- エクスポート方法を [FTP] に選択する
- エクスポートフォーマットに [MP4] を選択しアップロードを開始
 を押してコースエクスポートをキャンセルする

6.2.14 講義を削除したい

- リモコンまたはパネルの[MENU]  を押してメインメニューにアクセスする
- [◀▶] を使って [Record] を選択し [OK] を押す
- [▲▼] を使って [Delete Lecture] を選択し [OK] を押す
- [▲▼] を使って任意の画像または動画を選択する

- [OK] を押してウィンドウを閉じ、[Confirm] を押して削除する
[Cancel] を押して削除をキャンセルする

6.2.15 メニューの言語を変更したい

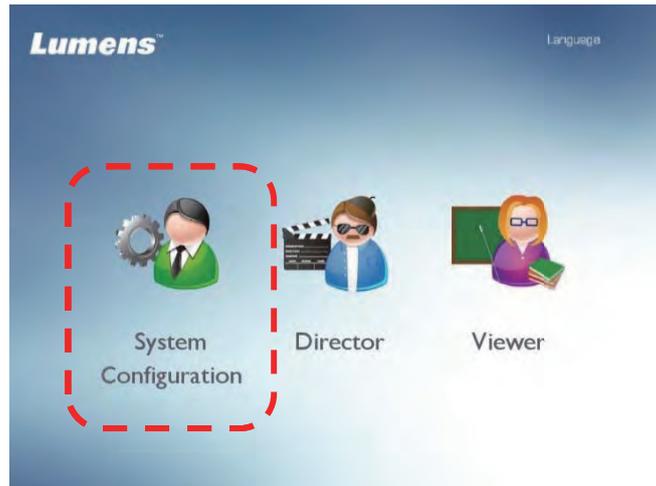
- リモコンまたはパネルの [MENU]  を押してメインメニューにアクセスする
- [◀▶] を使って [Function Setting] を選択し [OK] を押す
- [▲▼] を使って [Language Setting] を選択し [OK] を押す
- [▲▼] を使って任意の言語を選択して [Confirm] で適用する

Chapter 7 Web機能 - システムコンフィギュレーション

システム管理によりユーザーは基本的なシステム設定や高度な機能設定、データストレージを管理できるようになります。

システムコンフィギュレーション内の設定調整を行う前に、下記に従ってログインしてください。

- PCのWebブラウザを開き、VS-LC102のIPアドレスを入力する（例）
`http://192.168.1.150.`
- **[System Configuration]** を選択する



- VS-LC102 の Admin Username と password を入力する
User: `admin`
Password: `admin`



- **[Log in]** をクリックしてシステムコンフィギュレーションページに入る

7.1 システムコンフィギュレーション

メモ：任意の設定を調整後、スクリーン右下の **[Apply]** を押して調整を適用させます。

7.1.1 システム情報

The screenshot shows the 'System Configuration' page of the CaptureVision Station. The left sidebar contains navigation options: System Information (selected), Source Setting, Network Setting, Record Setting, Local Storage Setting, Layout Manager, Lecture Manager, Photo Manager, Schedule Manager, Event Log, and About. The main content area is titled 'System Configuration' and is divided into several sections:

- Device Setting:** Host Name: Lumens-CaptureVision, Device Description: [empty], IP Address: 192.168.7.66, Time Zone: (GMT+08:00) Taipei, Be, Summer time: [unchecked], Current Time: 2016/04/21 13:47:36. Options: Manually [unchecked], NTP Service [checked] with time.nist.gov.
- System Configuration:** User: admin, New User: [empty], New Password: [empty], Confirm Password: [empty], Show Characters: [unchecked].
- Director:** User: director, New User: [empty], New Password: [empty], Confirm Password: [empty], Show Characters: [unchecked].
- Viewer:** User: viewer, New User: [empty], New Password: [empty], Confirm Password: [empty], Show Characters: [unchecked].
- Boot Screen:** A preview of the CaptureVision Station boot screen.
- Boot Setting:** Power button to boot [unchecked], Plug the power supply and then boot [checked].

An 'Apply' button is located at the bottom right of the configuration area.

1 デバイス設定

- 1.1 **Host Name:** ホストデバイスの名称
- 1.2 **Host Description:** ユーザー定義のデバイス情報
- 1.3 **IP Address:** ホストデバイスのIPアドレス
- 1.4 **Time Zone:** 現在選択しているタイムゾーン
- 1.5 **Current Time:** システム時刻は **手動 / 自動** で調整可能

2 System Configuration/Director/Viewer : UsernameとPasswordを変更する

- 2.1 **New User:** System Configuration/Director/Viewerに任意のユーザー名を入力する
- 2.2 **New Password:** System Configuration/Director/Viewerに任意のパスワードを入力する
- 2.3 **Confirm Password:** System Configuration/Director/Viewerに任意のパスワードをもう一度入力する
- 2.4 **Show Characters:** パスワード入力時はオンスクリーンのキーストロークを表示する

3 Boot Screen: 起動中のディスプレイスクリーンを選択する

4 Boot Setting: 起動モードを選択する

7.1.2 映像ソース設定



1 Source Setting (ソース設定) :

1.1 Video Source: 優先映像

1.2 Audio source: 入出力オーディオをセットする



2 Discovery (開示)

2.1 Network Camera: ネットワークカメラのリスト (設置・接続したネットワークカメラ、以前に接続したネットワークカメラを含む)

7.1.3 ネットワーク設定



- 1 **DHCP:** 接続しているルーターを基準に自動でIPを割り当てる
- 2 **Manual Configuration:** ネットワーク情報を手動で入力する

7.1.4 録画設定



- 1 **Basic Settings (基本設定) :**
 - 1.1 **Audio Delay:** 映像送信後のオーディオ遅延時間をセットする
 - 1.2 **Line out Loop Through:**

ラインアウト・ループスルーの有効/無効を設定する
スピーカーからの音声はマイクからピックアップされ、増幅して同じスピーカーに再送すると高周波数で甲高いサウンドが再生される。
ハウリングを防ぐため、この場合はラインアウト・ループスルーを無効にする
 - 1.3 **Key note:**

キーノートは手動で挿入するか、タイマーで自動挿入する、またはPPTインデックス変更時に挿入する
 - 1.4 **Enable PPT Index:** enable PPT index softwareにチェックを入れる
関連の操作については [10.4 キーノートの挿入・使用](#) を参照
 - 1.5 **Video Systems:** NTSC もしくは PAL を選択可能

2 Storage Setting (ストレージ設定) :

- 2.1 **Recording Mode: Movie mode (MP4)**
- 2.2 **Encode Profile:** 15のエンコードフォーマットとユーザーカスタマイズを提供
- 2.3 **Inject Logo:** プルダウンメニューからスクリーンポジションを選択し、 を押してインサートしたロゴファイルをアップロードする
- 2.4 **Add Head/Tail to Video:** 動画にヘッドとエンドを追加するには  を押して任意の映像ファイルを選択・アップロードする
- 2.5 **Enable Record Backup:** FTP・SFTPで動画を自動アップロード・バックアップするには  を押してバックアップ設定ウィンドウにアクセスする
関連の操作については [10.1 自動録画のバックアップを有効にする](#) を参照
- 2.6 **Enable prefix to the filename :** USB / FTPにエクスポートした映像のファイル名に、講義名を追加する

3 Streaming Setting (ストリーミング設定) :

- 3.1 **Streaming Mode:** RTPマルチキャストとオンラインディレクターをサポート
関連の操作については [10.2 RTPを使用してスクリーンを共有する](#) と [10.3 ライブストリームの方法](#) 参照
- 3.2 **Encode Profile:** 15のエンコードフォーマットとユーザーカスタマイズを提供

● エンコードフォーマット

Items	圧縮フォーマット	概要
1	Dynamic Scene Full HD (1920 x 1080)	ラージフィルムサイト; ローカルドライブ録音
2	General Scene Full HD (1920 x 1080)	ミディアムフィルムサイト; ローカルドライブ録音
3	Static Scene Full HD (1920 x 1080)	スモールフィルムサイト; ローカルドライブ録音
4	Dynamic Scene HD (1280 x 720)	ラージフィルムサイト; LANストリーミング
5	General Scene HD (1280 x 720)	ミディアムフィルムサイト; LANストリーミング
6	Static Scene HD (1280 x 720)	スモールフィルムサイト; LANストリーミング
7	Dynamic Scene SD (720 x 480)	ラージフィルムサイト; LANストリーミング
8	General Scene SD (720 x 480)	ミディアムフィルムサイト; LANストリーミング
9	Static Scene SD (720 x 480)	スモールフィルムサイト; LANストリーミング
10	Dynamic Scene for Internet (720 x 480)	ラージフィルムサイト; オンラインディレクター (PCまたはタブレットでの閲覧用)
11	General Scene for Internet (720 x 480)	ミディアムフィルムサイト; オンラインディレクター (PCまたはタブレットでの閲覧用)
12	Static Scene for Internet (720 x 480)	スモールフィルムサイト; オンラインディレクター (PCまたはタブレットでの閲覧用)
13	Dynamic Scene Mobile Network (720 x 480)	ラージフィルムサイト; オンラインディレクター (携帯デバイスでの閲覧用)
14	General Scene Mobile Network (720 x 480)	ミディアムフィルムサイト; オンラインディレクター (携帯デバイスでの閲覧用)
15	Static Scene Mobile Network (720 x 480)	スモールフィルムサイト; オンラインディレクター (携帯デバイスでの閲覧用)
16	User-Defined	設定をカスタマイズするには  を押してコンフィギュレーションウィンドウにアクセスする

7.1.5 ローカルストレージ設定

- 1 **Storage device (ストレージデバイス)** : ローカルストレージデバイスを設定する
- 2 **Storage Setting (ストレージ設定)** :
 - 2.1 **Enable Local Storage**: レコーディングファイルを保存する
 - 2.2 **Cycling Record**: サイクルレコード機能を有効にすると、ストレージデバイスがフルの際の録画エラーを防ぐことができる
 - 2.3 **Preferentially record to front USB flash drive**: フロントのUSBポートにあらかじめ接続したUSBフラッシュドライブに、映像や写真が優先して記録される
 - 2.4 **Disk Select**: 2つ以上のストレージデバイスを設定している場合、優先デバイスを設定できる

7.1.6 レイアウトマネージャー

- 1 **Display Layout (ディスプレイレイアウト)** : デフォルトのスクリーンディスプレイレイアウトを選択する ; リモコンを使用してレイアウトを簡単に変更できる
- 2 **Record Layout (レコードレイアウト)** : デフォルトのレコードスクリーンレイアウトを選択する ; リモコンを使用してレイアウトを簡単に変更できる

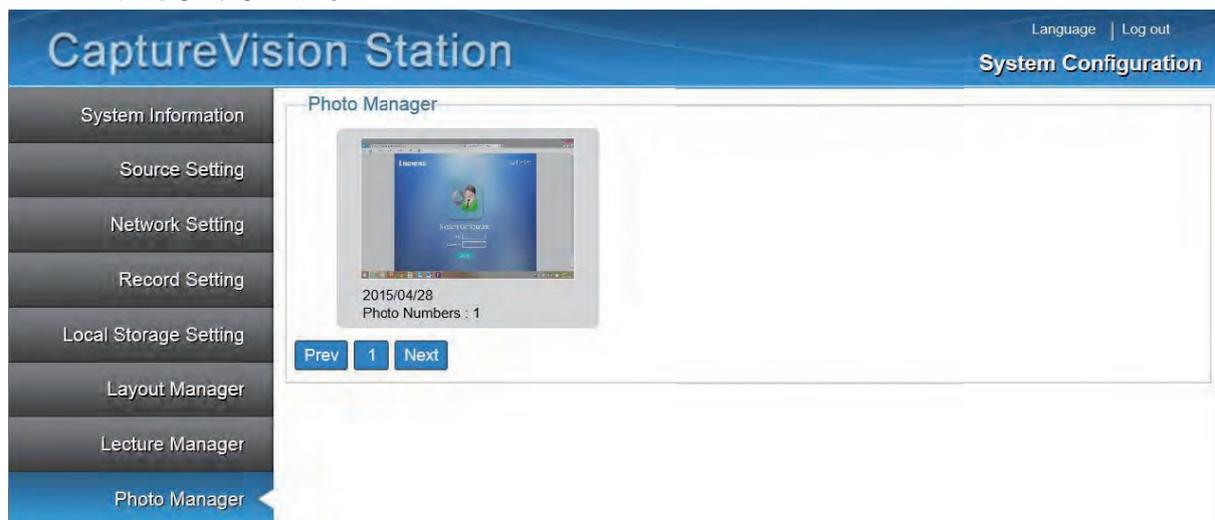
- 3 **Layout List (レイアウトリスト)** : レイアウトテンプレートを使用する
- 4 **Editor (エディタ)** : レイアウトテンプレートを使用する

7.1.7 レクチャーマネージャー・コンフィギュレーション



- 1 **Lecture Information (講義情報)** : 講義の記録 ; 講義情報を編集、消去、ダウンロードする

7.1.8 フォトマネージャー



- 1 **Photo Manager:** 日付順にソートする ; 画像の消去・ダウンロードを行う

7.1.9 スケジュールマネージャー・コンフィギュレーション

Language | Log out
System Configuration

CaptureVision Station

System Information
Source Setting
Network Settings
Record Setting
Local Storage Settings
Layout Manager
Lecture Manager
Photo Manager
Schedule Manager
Event Log
About

Schedule record
< > today Oct 2 — 8, 2016 month week day

	Sun 10/2	Mon 10/3	Tue 10/4	Wed 10/5	Thu 10/6	Fri 10/7	Sat 10/8
06:00							
07:00							
08:00						08:00 - 09:00 Math 01	
09:00							
10:00						10:00 - 11:00 Math 02	
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00					16:00 - 17:00 English Lesson		
17:00							
18:00					18:00 - 06:00	18:00 - 06:00	18:00 - 06:00
19:00							

Record Upload

- 1 **Schedule Manager:** 録画スタートのタイミングをプリセットし、講義情報を編集する

7.1.10 イベントログ

Language | Log out
System Configuration

CaptureVision Station

System Information
Source Setting
Network Setting
Record Setting
Local Storage Setting
Layout Manager
Lecture Manager
Photo Manager
Schedule Manager
Event Log

Event Log

Module : All Date/Time : One Day Apply Debug On Debug Off

Module	Date/Time	Message
No Data		

Prev 1 Next

- 1 イベントメッセージ、警告、エラーログを閲覧する

7.1.11 アバウトページ

The screenshot shows the 'CaptureVision Station' interface. At the top right, there are links for 'Language' and 'Log out', and the text 'System Configuration'. On the left, a vertical menu lists various settings: System Information, Source Setting, Network Setting, Record Setting, Local Storage Setting, Layout Manager, Lecture Manager, Photo Manager, Schedule Manager, Event Log, and About (which is highlighted in blue). The main content area is titled 'About' and displays the following information:

- Manufacturer : Lumens Digital Optics Inc.
- Model : CaptureVision
- Version : v3.2.5.15
- MCU version : v6.3
- ID : MS350161810004
- MAC : BC:BA:E1:02:05:0A

Below the information, there are three buttons: 'Firmware Update', 'Export', and 'Import'.

- 1 **Firmware Update (ファームウェアアップデート)** : 製品ファームウェアをアップデートする
- 2 **Export (エクスポート)** : 設定をエクスポートする
- 3 **Import (インポート)** : アップデートファイルを選択・アップロードする

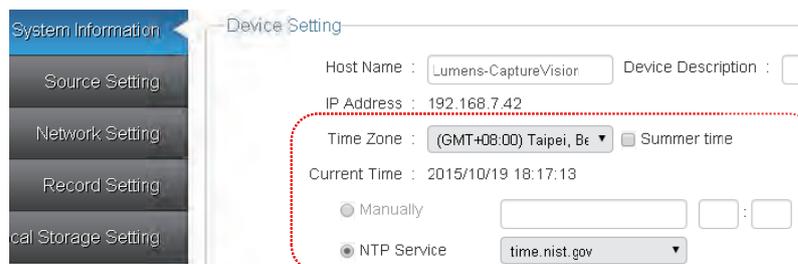
7.2 システムコンフィギュレーションの操作

7.2.1 ホスト名の変更



- **[System Information]** を開き、ホスト名と概要を書き換え
右下の **[Apply]** をクリックして適用する

7.2.2 システム時刻の変更

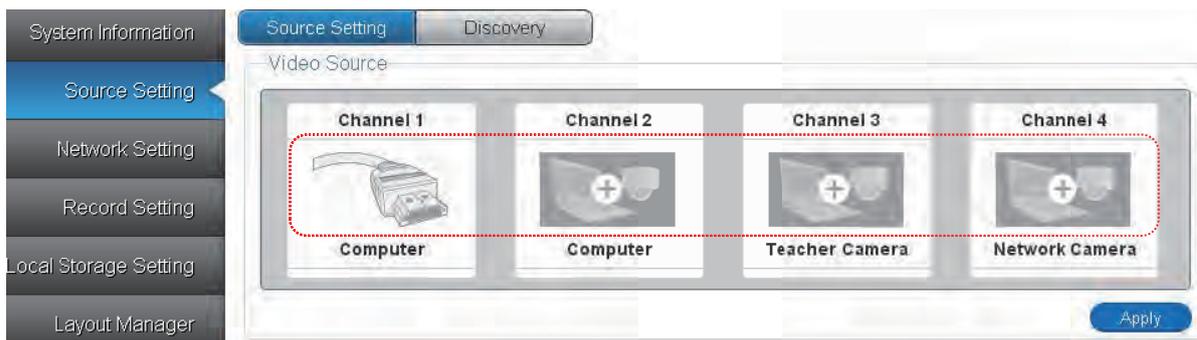


- **[System Information]** を開き、NTPサービスを使用するか
手動にて日付と時刻の変更を行う
- **NTP:** **[NTP Service]** にチェックを入れる。NTPサーバー選択でシステム時刻にサーバー時刻が反映される。必要な場合は**Time Zone (タイムゾーン)** を選択し**Daylight Saving Time (サマータイム)** にチェックを入れる。右下の **[Apply]** クリックで変更を適用。
- **Manually :**
[Manually] にチェックを入れる。正確な日付を選択し、タイムフィールドに正確な時刻を入力する。右下の **[Apply]** クリックで変更を適用。

7.2.3 ソース設定

[Source Setting] から **[Video Source]** を開く

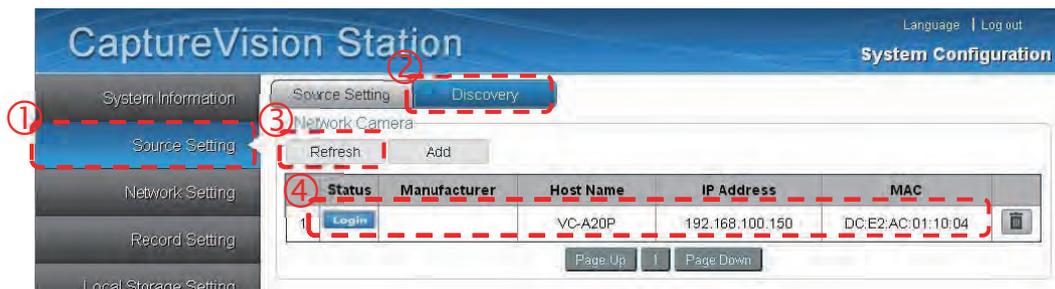
画像 をクリックして、名前 / 映像ソース / 画像設定 / 画像キャプチャー入力チャンネルの画像ポートを設定する



- 画像キャプチャーソースにVGAまたはHDMIが選択可能
キャプチャーソースはVIDEO IN 1 & 2のホスト入力ポート
VGAかHDMIが接続されると、ホストは自動検出してシグナルソースに切り替える
- ネットワークカメラに接続する場合は、ネットワークカメラ内の接続設定を先に行う
[7.2.4 IPカメラの接続](#) を参照

7.2.4 IPカメラの接続

[Source Setting] から [Discovery] タブに切り替える
カメラは自動 / 手動で追加可能



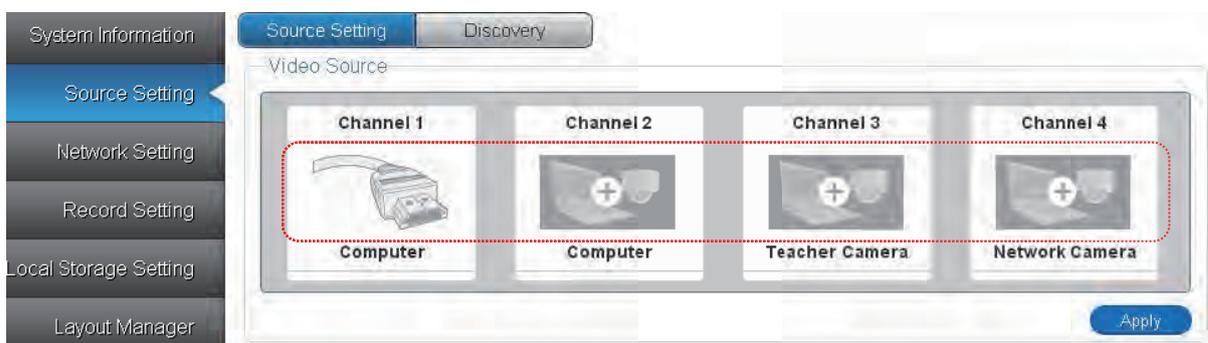
7.2.4.1 自動サーチ

- カメラがホストに接続されているか確認する
- **ネットワークカメラの検出** : [Refresh] をクリックしてネットワークカメラを検出する
デバイスが検出または追加されると、ステータスフィールドに **Login** が表示される
- **Login** をクリック
デバイス設定でネットワークカメラを接続するため **username** と **password** を入力する
ステータスフィールドの表示は に変わる

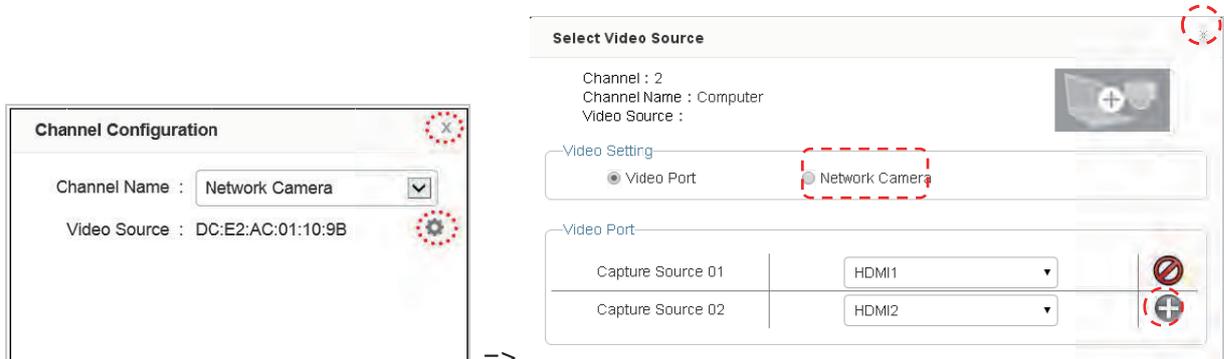
7.2.4.2 ネットワークカメラを映像ソースとして設定する

[Source Setting] から [Video Source] を開く

画像 をクリックして **名前 / 映像ソース / 画像設定 / 画像キャプチャー入力チャンネルの画像ポート** を設定する



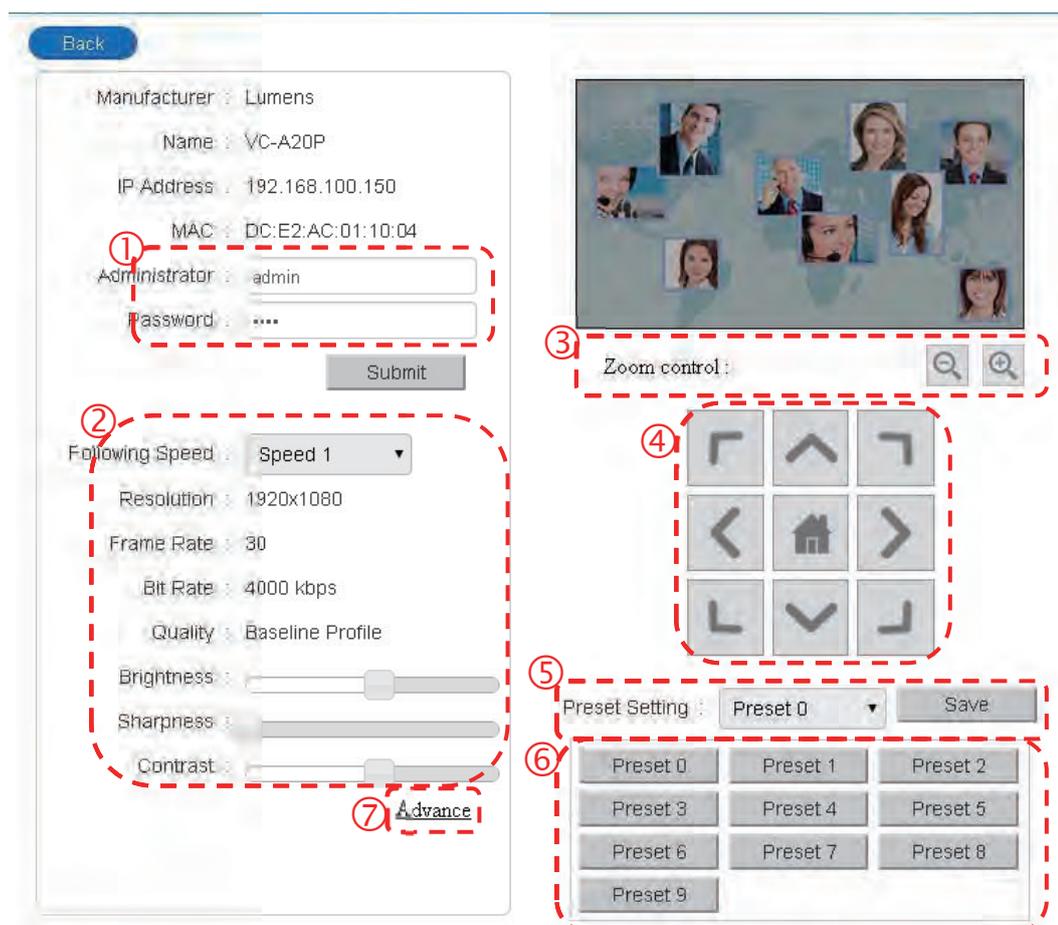
- 映像ソース内のチャンネル画像のどれかをクリックして **[Channel Configuration]** にアクセスする



- **[Channel Configuration]** 内の をクリックして **[Select Video Source]** にアクセスする
- リストから任意のネットワークカメラを選び、右の **[+]** をクリックしてカメラを接続する
- ウィンドウ右上の **[x]** をクリックしてチャンネルコンフィギュレーションを終了する
- Video Source内の **[Apply]** をクリックして設定を適用させる

7.2.4.3 ネットワークカメラ情報

“Video Source Setting (映像ソース設定)” で “Search” に切り替え、カメラを選択する



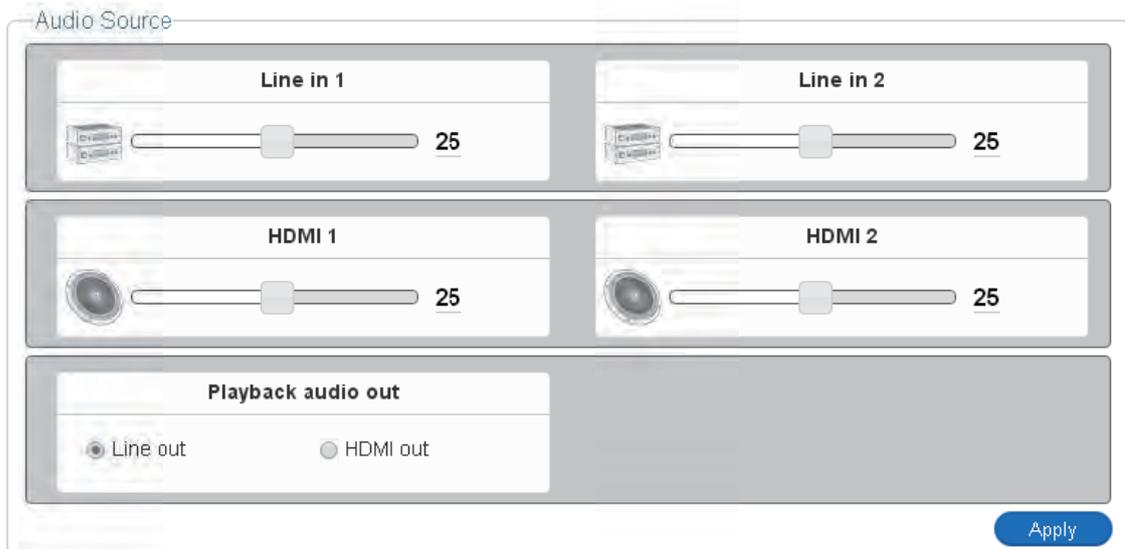
1. ユーザーネームとパスワードを入力してネットワークカメラを接続する
一度ログインの詳細が承認されるとカメラで画像をキャプチャーできる
2. カメラの品質情報と明るさの設定
3. カメラのスクリーン・ズームイン&アウト
4. カメラレンズのアングル調整
5. デフォルトのカメラレンズポジションを変更する : レンズのアングルを調整する
プリセットに [Preset 0-9] を選択し、 [Save] をクリックして設定変更する
6. レンズアングルをデフォルトのポジションに変更する
7. アドバンス : アクセスカメラ設定

7.2.4.4 ネットワークカメラのポジションを消去する

- [7.2.4.2 ネットワークカメラを映像ソースとして設定する](#) に従って映像ソースを再設定する
[-] をクリックしてカメラ接続を解除する
- [Video Source] で [Search] に切り替え、カメラリストの  をクリックしてカメラを削除する

7.2.5 ボリューム調整

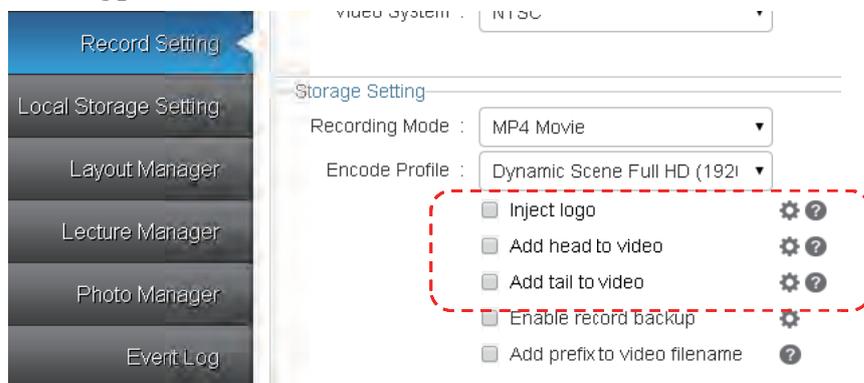
[Source Setting] を開く



- Line in 1 と Line in 2 の入力オーディオを調整するには、 を  に変更する
Mic1 とMic2 は入れ替え可能
- HDMI1 と HDMI2 オーディオは HDMI入力ボリュームを変更して調整する
- オーディオソースのボリュームは 0 から 50 まで調整可能
- オーディオ出力モードは接続に準じて設定する

7.2.6 映像内にロゴや他の映像を追加する

[Record Setting] を有効にする



7.2.6.1 映像にロゴを挿入する

-  をクリックしてロゴアップローダーにアクセスする
 - ドロップダウンメニューから画像のポジションを選択する
 - ログofileを選択する
 - [Upload] をクリックして Record Setting (録音設定) に戻る
 - [Insert Logo] にチェックを入れる
 - [Save Setting] (設定保存) 右下の [OK] をクリックして設定を適用する
- メモ: サポートしているファイルフォーマットを見るには  をクリックします。

7.2.6.2 映像にヘッド/エンドを追加する

-  をクリックしてアップロードウィンドウを開く
- 挿入する映像ファイルを選択する

- [Upload] をクリックしてRecord Setting（録音設定）に戻る
- [Add Head to Video] / [Add End to Video] にチェックを入れる
- [Save Setting] 右下の [OK] をクリックして設定を適用する
メモ：サポートしているファイルフォーマットを見るには  をクリックする

7.2.7 ストレージデバイス設定

[Local Storage Setting] を開く



ハードディスクの初期インストールは下記に従う：

- **ハードディスクの初期化**：ハードディスクを選択し  をクリック
クエリーウィンドウが現れ初期化を確認、“Yes” をクリックして初期化を開始する
初期化完了後、プロセス完了のメッセージボックスを閉じる

メモ：ハードディスクの初期化を行うと、ハードディスク内の全ての情報が消去されます。
初期化を行う前にデータのバックアップを行ってください。

メモ：初期化にかかる時間はハードディスクの仕様によって異なります。
初期化している間はウィンドウを閉じないようにしてください。

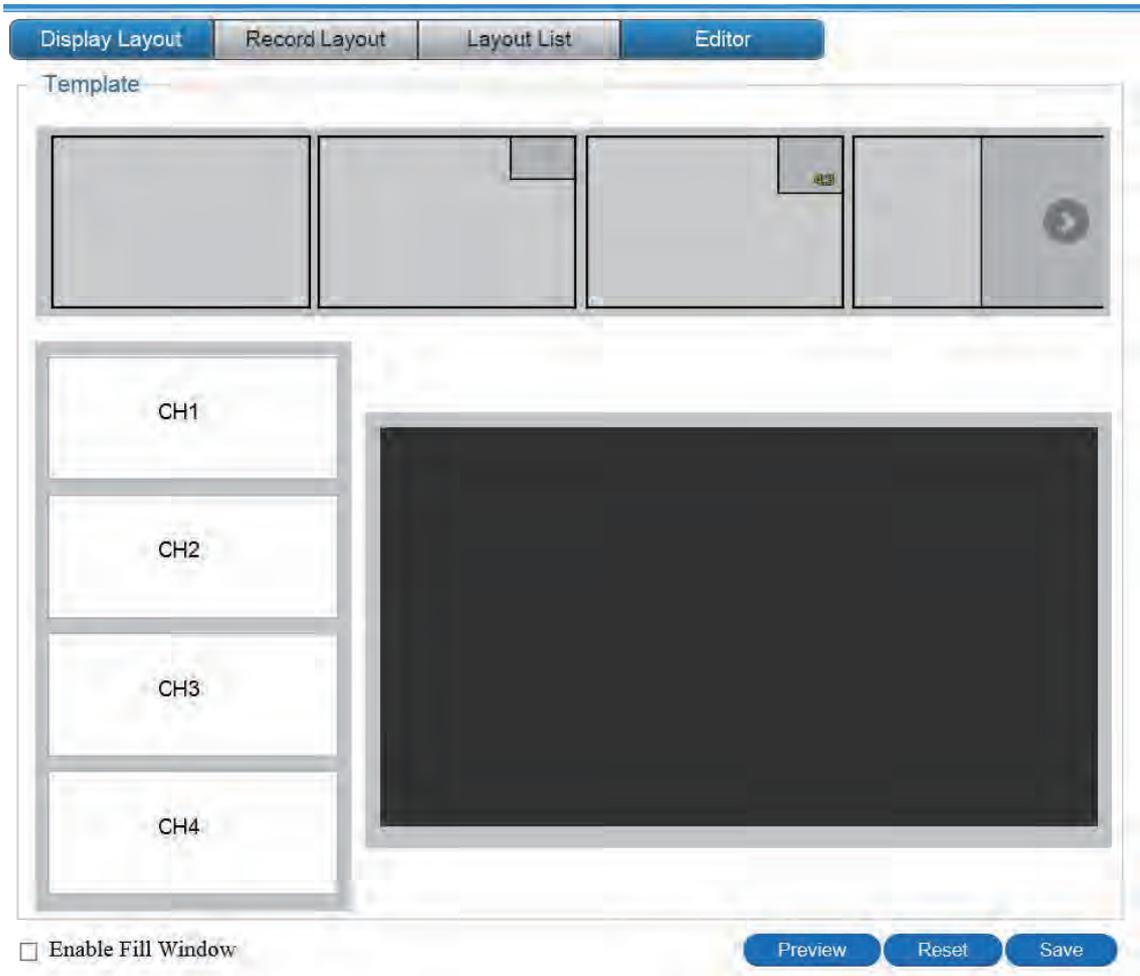
- **[Enable Local Storage] にチェックを入れる**：ここにチェックを入れると
搭載したハードディスクにファイルが保存されるようになる
- **[Cycling Record] にチェックを入れる**：ハードディスクの容量がいっぱいの場合、一番古いデータが自動的に新しいデータに書き換えられ
システムは情報の保存を続けることができる
- **オプションの[Preferentially record to front USB flash drive] にチェックを入れる**：
フロントのUSBポートにあらかじめ接続したUSBフラッシュドライブに
映像や画像を優先的に保存することができる
- **ハードディスクを搭載する**：[USB1/eSATA/SATA] のストレージデバイスに合わせて選択し
右下の [Apply] をクリックして搭載完了
メモ：2つ以上のデバイスを接続する場合、搭載デバイスを指定する必要があります。

7.2.8 レイアウト管理

[Display Layout] を開く

このウィンドウでスクリーンレイアウトの追加、消去、リセットを管理します

7.2.8.1 レイアウトテンプレートを追加する



- 上部のセクションからレイアウトを選択する
- 左のチャンネルを右のセクション内にドラッグする
- パネル内のグレーフレームの右下コーナーに小さな三角のアイコンが出るのでそのアイコンをクリックして自由に拡大・縮小・フレーム移動が可能
- **[Enable Fill Window]** にチェックを入れると、出力スクリーン上のチャンネルを最大化する
- 各セクションを構成したら、右下の **[Save]** をクリックして追加分を保存する
- Editor では **[Preview]** のクリックでいつでも出力スクリーンを確認できる **[Reset]** をクリックすると全ての設定がクリアになり再起動する

7.2.8.2 レイアウトテンプレートを削除する

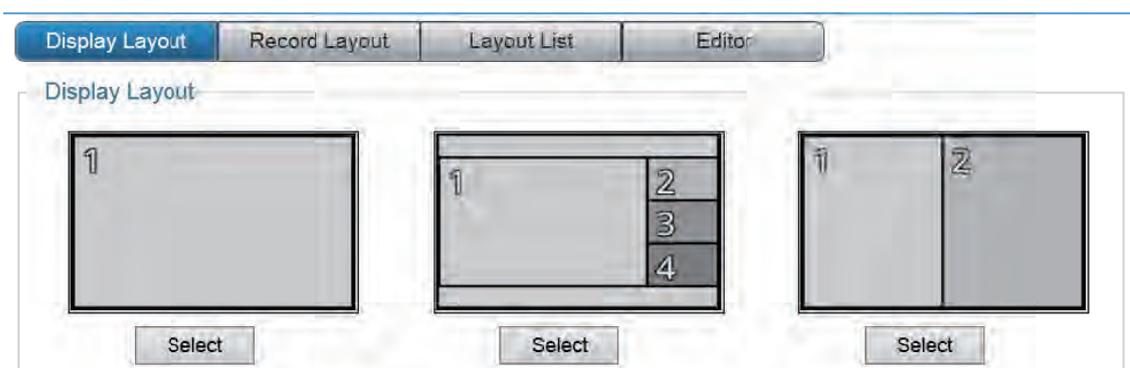
プリセットとユーザー定義のレイアウトを表示・削除する



- レイアウト下部の **[Delete]** をクリック、リマインダーが現れるので **[OK]** で削除する

7.2.8.3 レイアウト / 録音レイアウトの表示を変更する

9つのプリセットからレイアウトを選択する



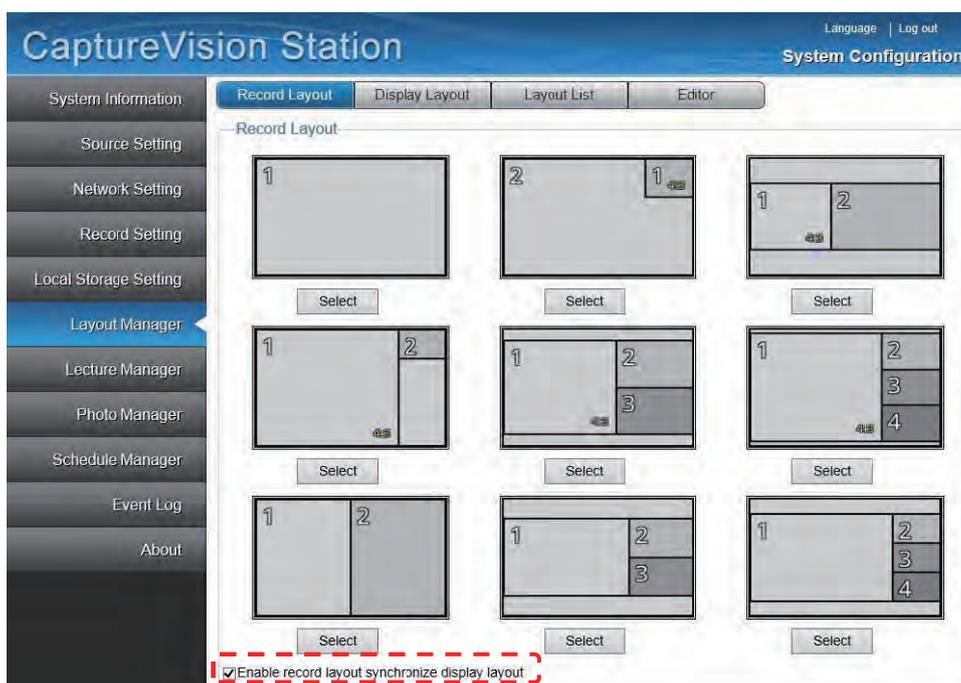
- レイアウトを選択して下部の **[Select]** をクリック、レイアウトウィンドウが現れるので変更するレイアウトを選ぶ

メモ：録音中のレイアウトはオンラインディレクターによって定義されています。

[8.2.2 レイアウト表示変更](#) を参照

7.2.8.4 レコーディングレイアウトをディスプレイレイアウトに揃える

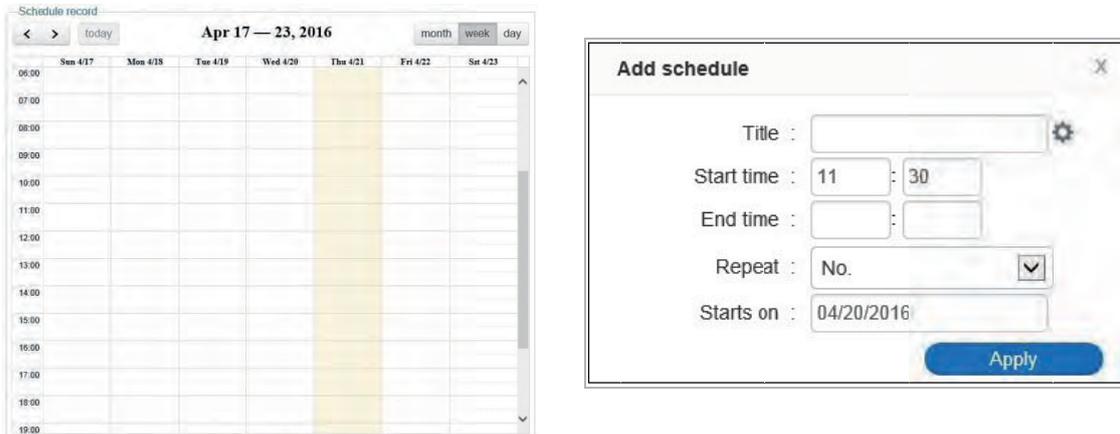
レコーディングレイアウトをディスプレイレイアウトに揃えて一貫したスクリーンディスプレイにする



- [Record Layout] 下部の [Enable record layout synchronize display layout] にチェックを入れてレコーディングレイアウトをディスプレイレイアウトに揃える
- [Enable record layout synchronize display layout] のチェックを外すとレコーディングレイアウトとディスプレイレイアウトを別々に配置できる

7.2.9 スケジュールマネージャー

[Schedule Manager] を開き、録画時間の予約や講義情報の事前編集を行う



7.2.9.1 レコーディングスケジュールを追加する

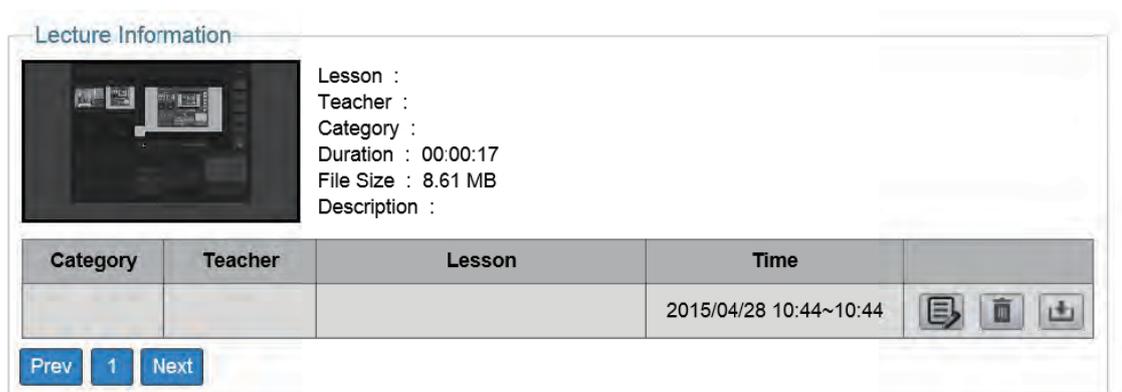
- タイムテーブルをクリックして [Add schedule] ページを開く
- 講義名を入力し、録画の開始時間と終了時間を設定、 を押して講義の詳細について編集する
- [Apply] をクリックして設定を適用する

7.2.9.2 レコーディングスケジュールを修正・削除する

- セットしたスケジュールをクリックして、スケジュール設定ページを開く
- 修正が完了したら [Apply] を押して設定を適用する
- [Delete] を押して特定の録画スケジュールを削除する

7.2.10 レクチャーマネージャー

[Lecture Manager] を開き、講義情報やキーノートの削除・ダウンロード・編集を行う



7.2.10.1 講義を削除する

- 講義を選択して  をクリック、リマインダーが現れるので [OK] を押して講義を削除する

7.2.10.2 講義をダウンロードする

- 講義を選択し  をクリック、リマインダーが現れるので [OK] をクリックして講義をダウンロードする
メモ：ダウンロードファイルのフォーマットは *.mp4 です。閲覧には動画再生ソフトウェアを利用してください。

7.2.10.3 講義情報を編集する

- 講義を選択し  をクリック、[Edit Lecture Information] にアクセスする
講義情報を入力し [Submit] をクリックして編集完了

Back

Edit Lecture Information

School :

Department :

School Year :

Semester :

Category :

Lesson :

Grade :

Class :

Room :

Teacher :

Section :

Description :

Submit

7.2.11 レクチャーキーノートを編集する

- 講義を選択し  をクリック、[Edit Lecture Keynote] にアクセスする

Edit Lecture Keynote

Time	Key Note		
00:00:09	Key Note 1		
00:00:15	Key Note 2		

Prev 1 Next



- レクチャーキーノートの編集： にタイトルを入力し  をクリックして変更を適用する
- レクチャーキーノートの削除：キーノートを選択して  をクリック、リマインダーが現れるので[Confirm] をクリックしてキーノートを削除する

7.2.12 ユーザー名とパスワードを変更する

System Configuration	Director	Viewer
User : admin	User : director	User : viewer
New User : <input type="text"/>	New User : <input type="text"/>	New User : <input type="text"/>
New Password : <input type="text"/>	New Password : <input type="text"/>	New Password : <input type="text"/>
Confirm Password : <input type="text"/>	Confirm Password : <input type="text"/>	Confirm Password : <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> Show Characters	<input type="checkbox"/> Show Characters	<input type="checkbox"/> Show Characters

- [System Information] へ
- System Configuration/Director/Viewer 内に新しいユーザー名とパスワードを入力する右下の [Apply] をクリックして変更を適用する
- [Show Characters] にチェックを入れるとタイプした文字が表示されパスワードがきちんとセットされているか確認できる
メモ：管理アカウントを変更した場合はログインし直してください。

7.2.13 スタートアップスクリーン

- [System Information] へ
- スタートアップ画像を選択してアップロードウィンドウを開く
- スタートアップ画像を選択する
- [Send] をクリックして変更完了
メモ：画像のサイズは 1280 x 720*のpngファイルにしてください。

7.2.14 ネットワーク設定

- [Network Setting] に切り替える
- ネットワークの種類によって **Using DHCP** または **Manual Configuration** にチェックを入れる
- manual configurationの場合、ネットワークコンフィギュレーションを基準としたIPアドレスに変更する
- 変更を確認したら右下の [Confirm] をクリックする
メモ：IPアドレスを変更したらログインし直してください。

7.2.15 Webページ言語

ネットワークコンフィギュレーションまたはディレクターズスクリーン右下の [Language] をクリックして操作の言語をいつでも切り替えることができます。

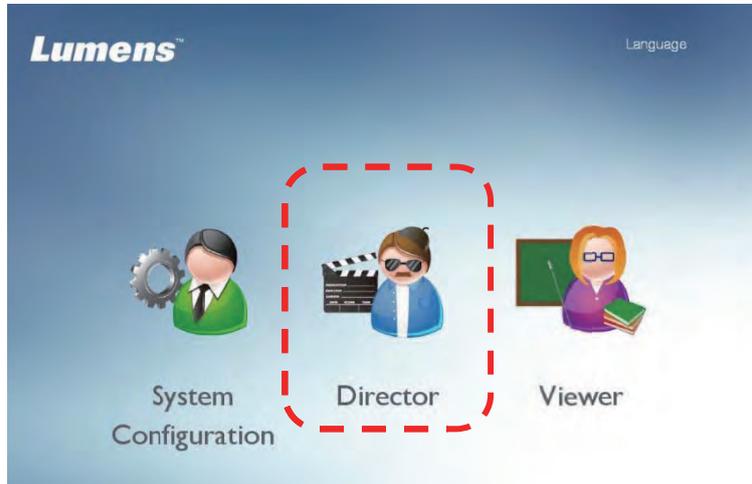
サポート言語は現在のところ下記の通りです：

[Traditional Chinese (繁体字中国語) / Simplified Chinese (簡体字中国語) / English (英語)]

Chapter 8 Webページ機能 - ディレクター

ディレクター機能により、ユーザーは録音を行ったり、録音設定を変更できるようになります。ディレクター機能を使用する前に下記に従ってログインしてください。

- PCのWebブラウザを開き、VS-LC102のIPアドレスを入力する (例)
http://192.168.1.150.
- [Director] を選択する



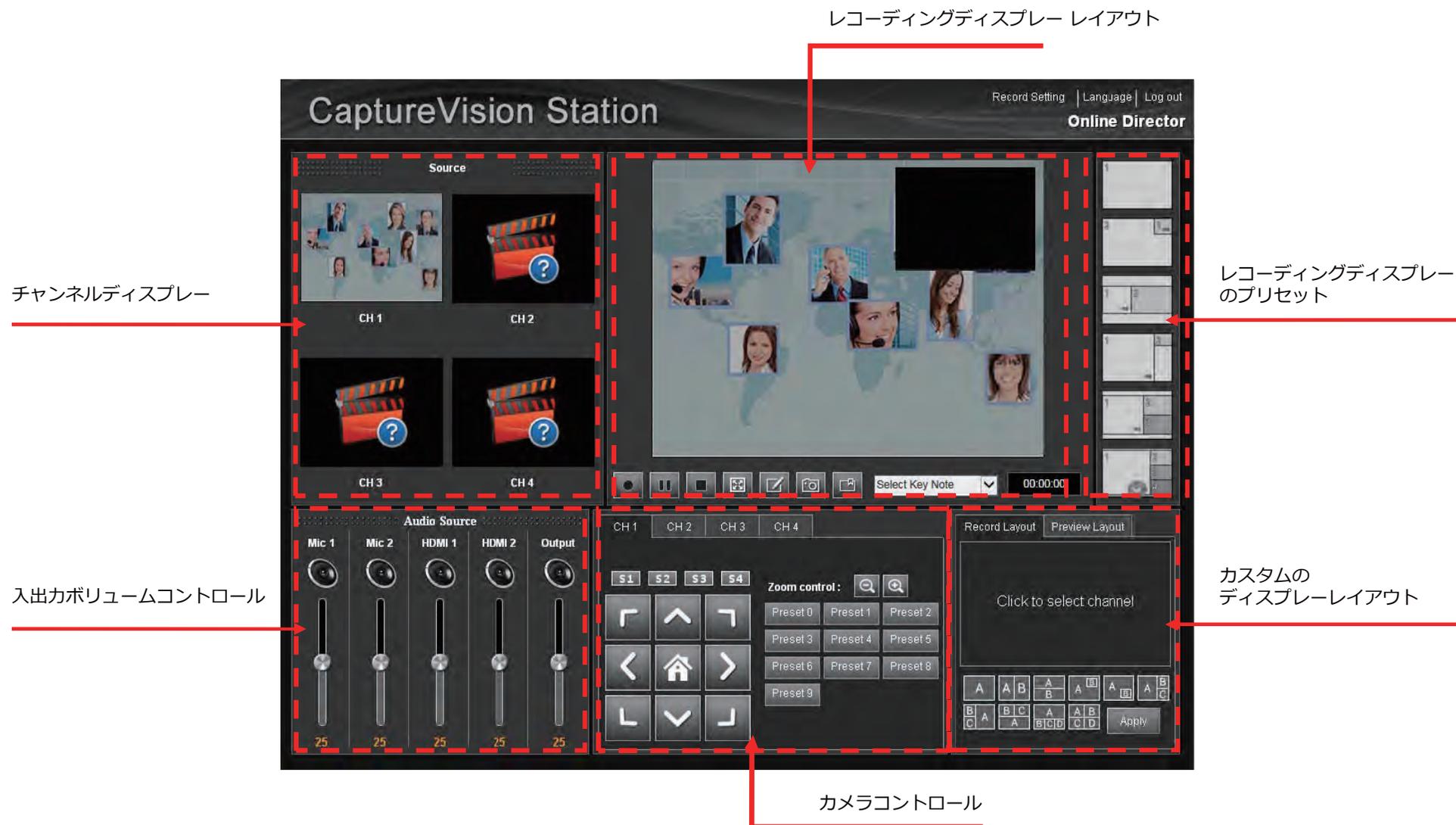
- VS-LC102 ディレクターユーザー名とパスワードを入力する
User: director
Password: director



- [Log in] をクリックしてオンラインディレクターにアクセスする
- 初回ログインではストリーミング向けに **FireBreadthed VLC** プラグインのインストールが促されるのでスクリーン上の指示に従ってプラグインをインストールする

8.1 ディレクター操作

8.1.1 ディレクターの紹介



8.1.2 ディレクターの操作



1 **Source (ソース)** : 各チャンネルの出力映像

2 **Audio Source (オーディオソース)** : 各入出力オーディオのボリューム調整

3 レコーディングディスプレイ・レイアウトプレビュー ; 録画とスナップショット機能あり

- 3.1  : 録画する
- 3.2  : 録画を一時停止する
- 3.3  : 録画を停止する
- 3.4  : ウィンドウに合わせてチャンネルを拡大する
- 3.5  : コース情報を編集する (録音を始める前に完了させる)
- 3.6  : スナップショットを撮る
- 3.7  : キーノートを追加する
- 3.8  : 自動キーノートの時間を設定する

4 **Channel 1 - 4** : 録画アングルコントロール ; Lumensネットワークカメラを使用

5 レコーディングディスプレイレイアウトのプリセット ; レイアウト間を高速で切り替え

6 **レコーディング / プレビューレイアウト** : カスタム設定のレコーディングディスプレイレイアウト & モニターディスプレイレイアウト

7 録画設定 / 言語 / ログアウト

8.1.3 ディレクタースクリーン操作 - 録画設定

Record Setting✕

Please configure related parameters for one time change

Video System :	<input type="text" value="NTSC"/>	Line out loop through :	<input type="text" value="On"/>
Audio Delay :	<input type="text" value="200 ms"/>	Drop Record :	<input type="text" value="2 seconds"/>
Recording Mode :	<input type="text" value="MP4 Movie"/>		
Storage Encode Profile :	<input type="text" value="Dynamic Scene Full HD (1920x1080)"/>		
Record To :	<input type="text" value="Off"/>		
Stream Encode Profile :	<input type="text" value="Dynamic Scene Mobile (720x480)"/>		
Streaming Mode :	<input type="text" value="RTP Multicast"/>		
IP Address :	<input type="text" value="227.2.2.174"/>		
Port :	<input type="text" value="1234"/>		

- 1 **Video System (映像システム)** : NTSC または PAL を選択可
- 2 **Line out loop through (ラインアウト・ループスルー)** :
ラインアウト・ループスルーの有効/無効を設定する
スピーカーからの音声マイクからピックアップされ、増幅して同じスピーカーに再送すると高周波数で甲高いサウンドが再生される。
ハウリングを防ぐため、この場合はラインアウト・ループスルーを無効にする
- 3 **Audio Delay (オーディオ遅延)** : 映像送信後のオーディオ遅延時間を設定する
- 4 **Drop Record (録画の区切り)** : レコーディングの間隔を調整する
1 second (1秒) を選択した場合、レコーディング開始を1秒間遅らせる
- 5 **Recording Mode (レコーディングモード)** : MP4 Movie
- 6 **Storage Encode Profile (ストレージ・エンコードプロファイル)** : 15の符号化フォーマットとユーザーカスタムを提供
- 7 **Record To (保存先)** : ローカルのレコーディングの保存先を設定する
- 8 **Stream Encode Profile (ストリーム・エンコードプロファイル)** : 15の符号化フォーマットとユーザーカスタムを提供
- 9 **Streaming Mode (ストリーミングモード)** : RTPマルチキャストとオンラインストリーミングをサポート
[10.2 RTPを使用してスクリーンを共有する](#) と [10.3 ライブストリームの方法](#) を参照

8.2 ディレクター操作

8.2.1 基本の録画操作

-  をクリックして録画開始する
-  をクリックして録画を一時停止する
-  をクリックして録画を停止する

8.2.2 レイアウト表示変更

8.2.2.1 ディスプレーレイアウトチャンネルを素早く切り替える

- 右のテンプレートをダブルクリックし、レコーディングディスプレイレイアウトチャンネルを素早く切り替える

8.2.2.2 カスタム設定のレコーディングディスプレイレイアウト



- 右下テンプレートの Record Layout タブをクリック
- いずれかのレイアウトをクリック
- ブロックをクリックして様々な使用チャンネルを設定する
- ディスプレーレイアウト設定後 **[Apply]** をクリックして適用する

8.2.2.3 カスタムレイアウト



- 右下の映像テンプレートをクリックし teacher video template (講師映像テンプレート) に切り替える
- いずれかのレイアウトをクリック
- ブロックをクリックして様々な使用チャンネルを設定する
- ディスプレーレイアウト設定後 **[Apply]** をクリックして適用する

8.2.3 キーノートの挿入

- **Custom:** レコーディング中にキーノートを追加するには  をクリックする
- **Timed:** レコーディング中、設定した時間にキーノートを自動追加するには を設定する

メモ1 : PPT indexを使用する場合、キーノートはページを変更する度に自動で追加されます。

メモ2 : キーノートはコンフィギュレーションで名前の変更や削除ができます。

[7.2.11 レクチャーキーノートを編集する](#) を参照ください。

8.2.4 ネットワークカメラコントロール



- **カメラを選択する** : Channel 1~4 を選択してカメラチャンネルを切り替える
- **カメラを回転させる** : 右側のキーパッドをクリックしてカメラレンズを回転させる
[Home] をクリックするとレンズはセンターポジションに戻る
- **カメラレンズの回転速度を変更する** : S1からS4をクリックして動きのスピードを切り替える
- **高速でカメラアングルを変える** : 右側のキーパッドをクリックしてカメラレンズを回転させる
[Home] をクリックするとレンズはセンターポジションに戻る
-   : Zoom In (+) / Zoom Out (-) を調整する

メモ : コンフィギュレーションでデフォルトポジションを変更できます。

[7.2.4.3 ネットワークカメラ情報](#) を参照ください。

8.2.5 その他の録画設定

- **ローカルレコーディングの出力解像度を変更する** : ローカルレコーディングの出力解像度は [Storage Encode Profile] で変更可能
- **ストリーミングメディアの出力解像度を変更する** : ストリーミングメディアの出力解像度は [Streaming Encoding Profile] で変更可能
- **ストリーミングモード - RTP** : [Streaming Mode] を [RTP Multicast] に変更するとき IPアドレスや接続ポートに準じてVLCや他のソフトウェアを使用したり、同じドメイン内にある他のインテリジェントレコーディングシステムを使用して接続&同期できる
[10.2 RTPを使用してスクリーンを共有する](#) を参照ください。

Streaming Mode :	<input type="text" value="RTP Multicast"/>
IP Address :	<input type="text" value="227.2.2.174"/>
Port :	<input type="text" value="1234"/>

- **ストリーミングモード - WebCasting** : [Streaming Mode] を [WebCasting] に変更するとき URL欄に接続アドレスをダイレクトに入力して、レコーディング開始後に映像をストリーミング可能
[10.3 ライブストリームの方法](#) を参照ください。

Streaming Mode :	<input type="text" value="WebCasting"/>
URL :	<input type="text"/>

8.2.6 Webページ言語

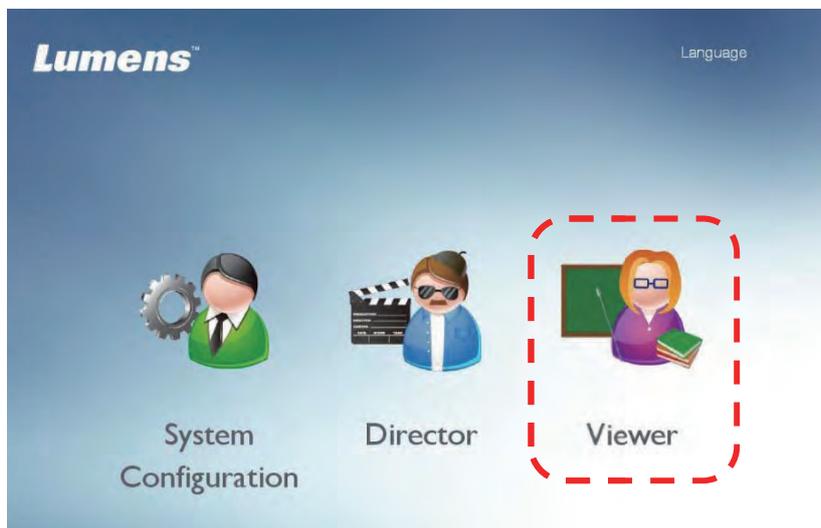
ネットワークコンフィギュレーション もしくは ディレクターズスクリーン の右下にある [Language] をクリックして、いつでも言語の切り替えが可能。現在システムがサポートしている言語 :

Traditional Chinese (繁体字中国語) / Simplified Chinese (簡体字中国語) / English (英語)

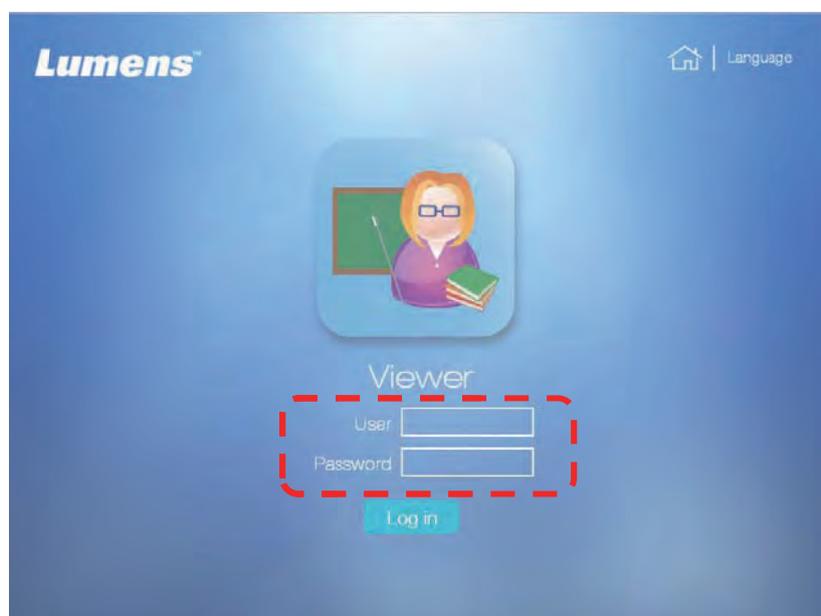
Chapter 9 Webページ機能 - ビューワー

このページでは、ユーザーが映像を閲覧したりダウンロードすることができます。
システムコンフィギュレーションの設定を調整する前に、下記に従ってログインしてください。

- PCでWebブラウザを開き、VS-LC102のIPアドレスを入力する（例）
http://192.168.1.150
- [Viewer] を選択

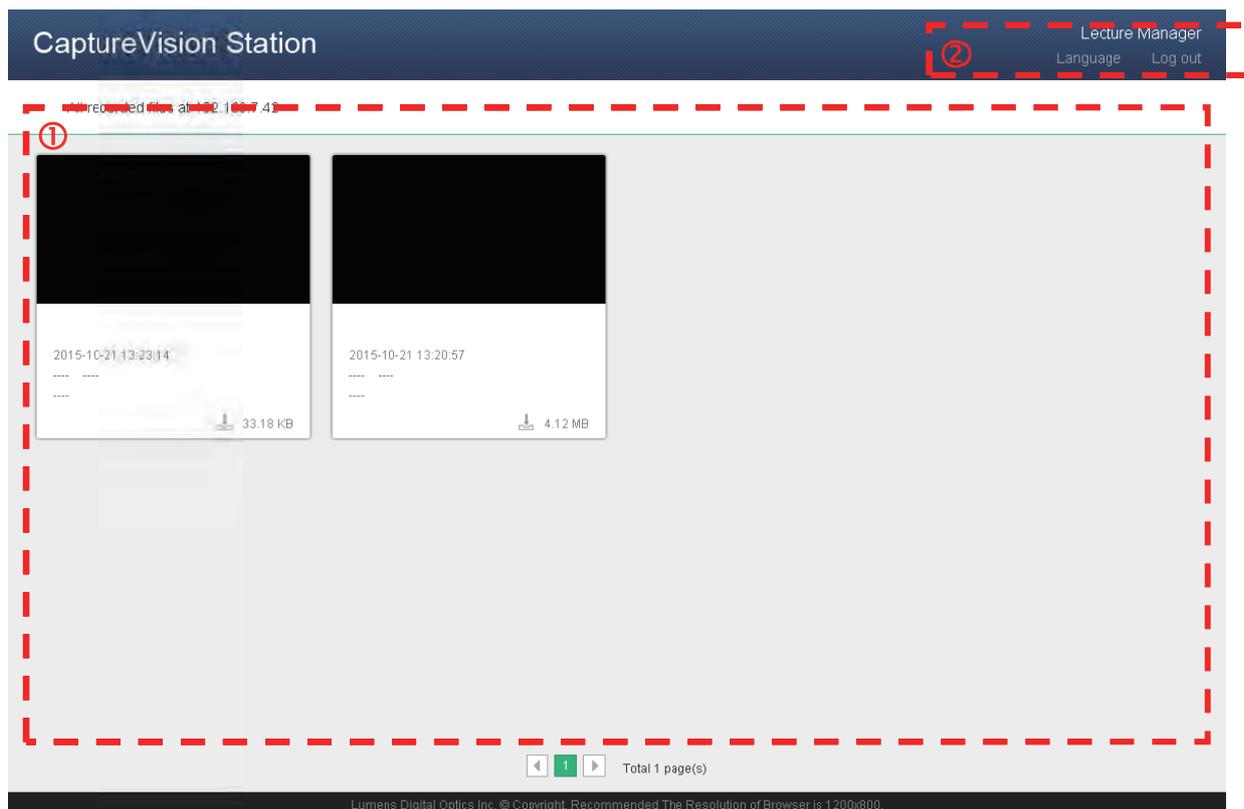


- VS-LC102 ビューワーユーザー名とパスワードを入力する
User: viewer
Password: viewer



- [Login] をクリックしてビューワーページを開く

9.1 ページについて



1 Course List (コースリスト) : オンラインにて閲覧・ダウンロードのコースを提供

2 スクリーン言語を変更 / ログアウト

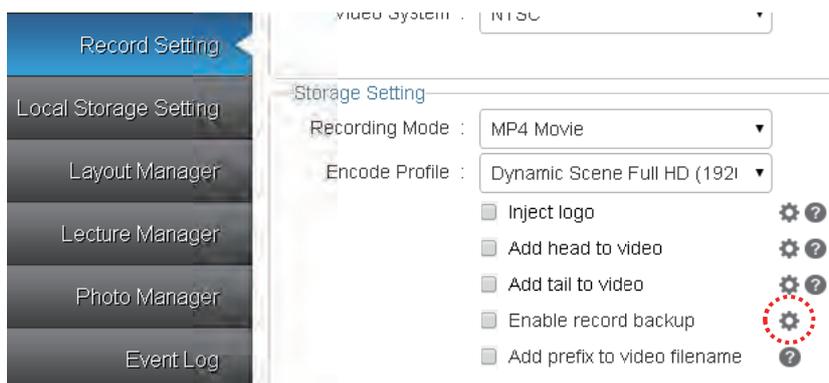
Chapter 10 アドバンス機能メニュー

10.1 自動録画のバックアップを有効にする

メモ : はじめてFTPに接続した際に、全てのコースがアップロードされます。
そのためアップロード完了後にFTPの設定を再開してください。

10.1.1 FTP接続の設定

- ブラウザを開き、システム管理ページにログインする
- **[Storage Setting]** に切り替える
- **[Enable Record Backup]** 横の  をクリックして **[Backup Setting]** ウィンドウを開く



- FTP接続の設定を入力する
 - **Backup Mode** : FTP / SFTP
 - **IP Address** : FTP接続IPを入力する
 - **Folder** : 既存のFTPフォルダ名を入力する
 - **Username / Password** : FTPのユーザーネーム / パスワードを入力する
 - **Video format** : MP4フォーマット
 - **Backup Schedule** : レコーディング停止後にアップロードする / シャットダウン前にアップロードする / スケジュールアップロード時
 - **Start time / End time** : バックアップ用にルーティンスケジュールを設定しルーティンアップロードをアクティブにする
- **[Connection Test]** を押してFTP接続の設定を確認する
- **[OK]** を押して接続設定を適用する
- **[Enable Recording Backup]** を選択してバックアップ機能をONにする
- 右下の **[Apply]** をクリックして設定を適用

10.1.2 バックアップの設定

Backup Settings

Backup mode : FTP

IP Address : 192.168.1.155 Port : 21

Folder : Test

Authentication : Normal

Account : Test

Password :

Video Format : MP4

Backup Schedule : Schedule upload

Start time : 18 : 00

End time : 6 : 00

Connection Test Apply

- 1 **Backup Mode** : FTPアップロード設定
 - 2 **IP Address / Port** : FTP接続IPアドレスとポートナンバー
 - 3 **Folder** : FTPフォルダ名
 - 4 **Account / Password** : 任意のログインアカウントとパスワードを設定する
 - 5 **Video Format** : バックアップのビデオフォーマットをアップロードする
 - 6 **Backup Schedule** : プルダウンメニューでバックアップのスタート時間を設定する
[After Recording Stopped / Before shutdown / Schedule upload]
レコーディング停止後 シャットダウン前 スケジュールアップロード時
- メモ** : レコーディング停止後にバックアップを実行する設定をした場合、
レコーディング完了のおよそ3分後にバックアップが開始します。
- 7 **Start time / End time** : 定期的にアップロードする場合はルーティンスケジュールを設定する

10.2 RTPを使用してスクリーンを共有する

10.2.1 RTP共有を設定する

- ブラウザを開き、システム管理ページにログインする
- [Record Setting] → [Streaming Setting] を下記のように変更する

Streaming Mode: RTP Multicast

Encode Profile: Dynamic Scene HD (1280 x 720)



- 右下コーナーの [Apply] をクリックして設定を適用する
- Web管理ページをログアウトする

メモ: ページ設定が完了すればいつでもスクリーン共有を開くことができます。

10.2.2 RTP共有を開始する

リモコン もしくは コントロールパネルを使用する :

- ● を押してレコーディングプレビュースクリーンにアクセスする
- ● もしくは [OK] を押してレコーディングを開始するとスクリーン共有も始まる
- ■ を押してレコーディングを停止するとスクリーン共有も終了する

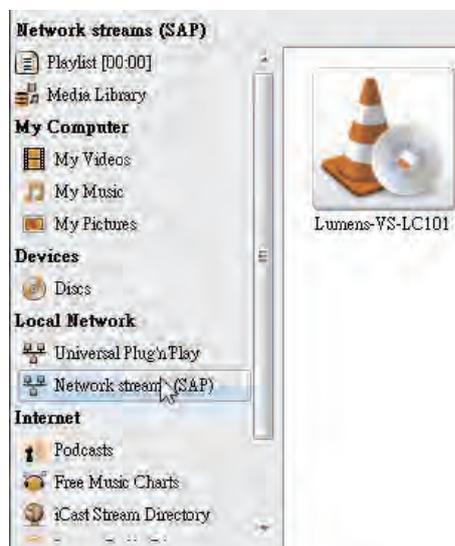
メモ: レコーディング開始後も、スクリーン共有の接続を実行できます。

10.2.3 スクリーン共有を見る

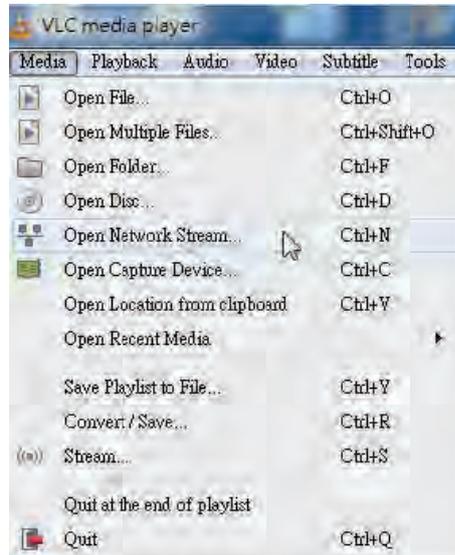
10.2.3.1 PC接続を利用する

ストリーム接続にはVLCや他のソフトウェアが使用される
VLCは下記の2つの接続方法がある

- Local Area Network (LAN) 接続
メモ: LAN接続を使用する ; PCとホストは同じセグメントに置く
(例) 192.168.1.x
➤ VLCを開き、[Network Stream (SAP)] をクリックし、右パネルに接続可能なデバイスが表示されるのでクリックして閲覧を開始する



- ストリーム接続
 - ホスト・ストリームアドレスを設定
 - VS-LC102 のリモコンの  ボタンを押して OSDメニューを開く
 - 右にスクロールして **[Setting]** → **[OK]** で設定画面を開く
 - ネットワークストリーミングアドレスを確認する
 - VLCを開き、リストトップの **[Media]** をクリック、 **[Open Network Stream...]** を選択してネットワークストリーミングアドレスを入力し閲覧を開始する



10.2.3.2 接続や閲覧に VS-LC102 を使う

- リモコンまたはパネルの **[Menu]**  を押してメインメニューにアクセスする
- **[◀▶]** を使って **[Playback]** を選択し、**[OK]** を押す
- **[▲▼]** を使って **[Live Broadcast]** を選択し、**[OK]** を押す
- **[EXIT]**  もしくは **[Return]**  で終了する

10.2.4 RTP共有設定にオンラインディレクターページを使用する

- ブラウザーを開きオンラインディレクターページにログインする
- スクリーン右上 **[Recording Setting]** をクリックし、**[Streaming Setting]** を次のように変更する

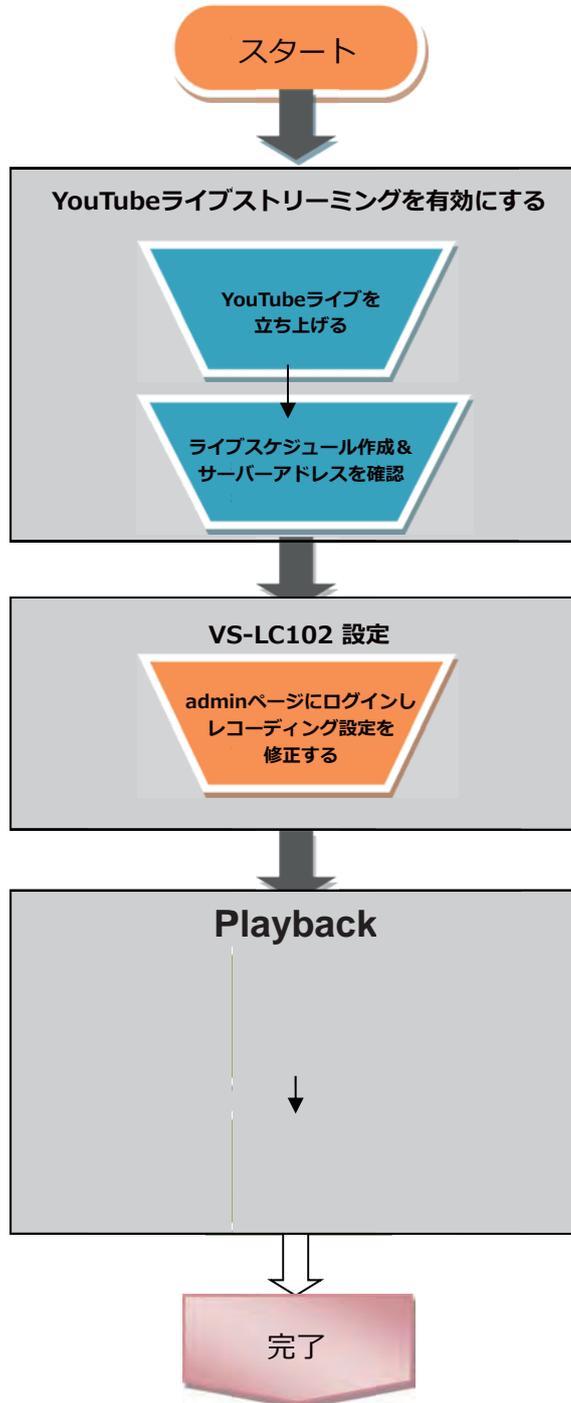
Streaming Mode: RTP Multicast

Stream Encode Profile: Dynamic Scene HD (1280 x 720)

- 右下の **[Apply]** をクリックし設定を保存する
- **[•]** を押してレコーディングか&共有を開始する
- 接続・閲覧方法は [10.2.3 スクリーン共有を見る](#) を参照
- レコーディングを停止すると共有も停止する

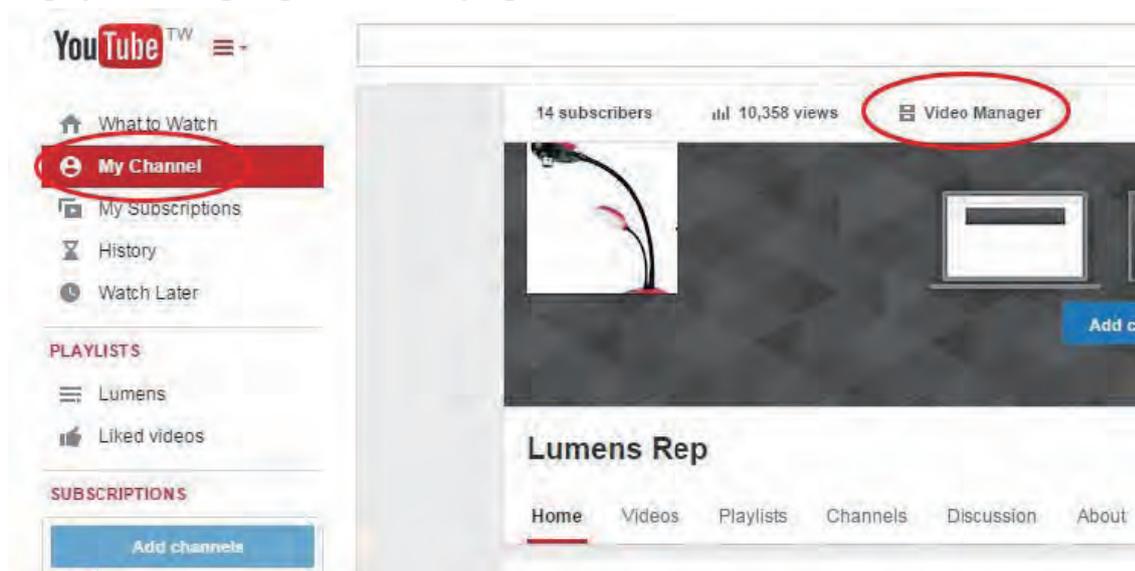
10.3 ライブストリームの方法

この製品はオンラインのライブイベントをサポートしています。
YouTubeでライブストリームができます。手順は次の通りです：

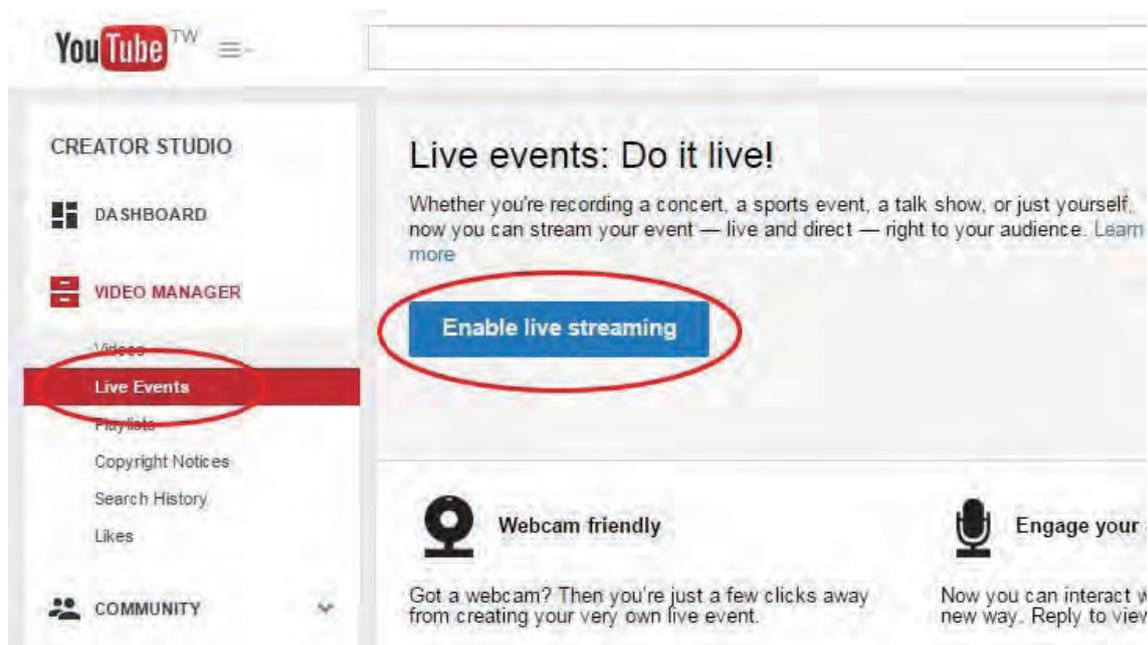


10.3.1 YouTubeライブストリーミングを有効にする

- YouTubeアカウントにログインする
- [My Channel] → [Video Manager] を選択



- [Live Events] → [Enable live streaming] をクリック



- 照合コードの受け取り方を選択し、携帯電話番号を入力してアカウント照合を完了する

Account verification (step 1 of 2)

Verifying your account by phone lets you unlock additional features on YouTube, and h

Select your country

United States

How should we deliver the verification code to you?

Call me with an automated voice message

Text me the verification code

Which language should we use to send you the verification code?

English (US) [change language](#)

What is your phone number?

Please input a valid phone number.

For example: (201) 555-5555

Important: Up to two accounts can be verified per phone number, per year.

- 照合コードを入力しプロセスを完了する

Account verification (step 2 of 2)

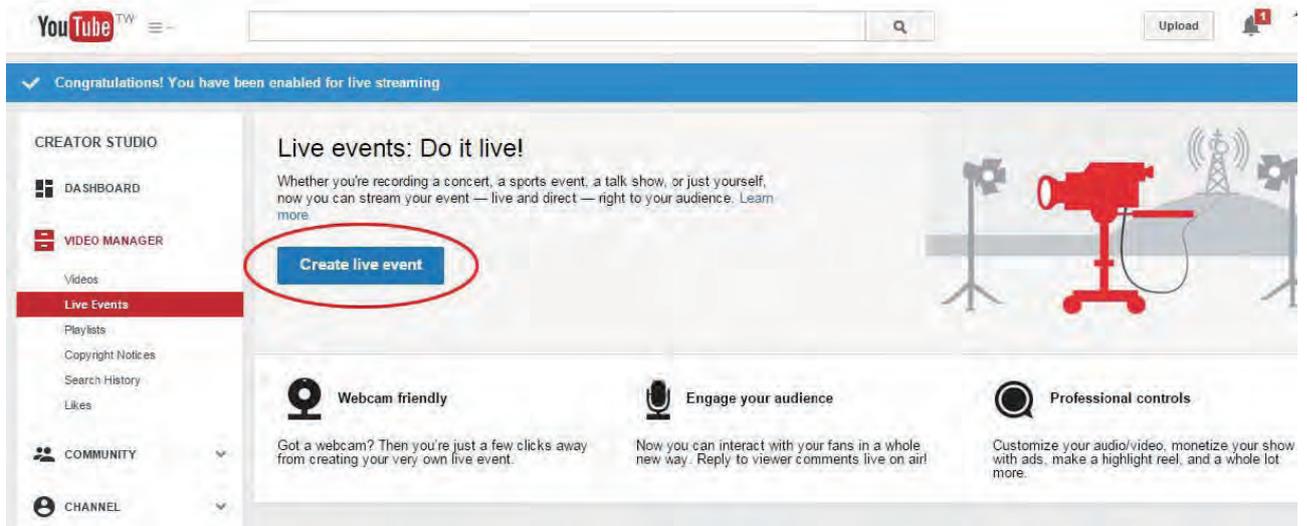
A text message with your verification code has been sent.

If you don't get the text message, try going back and sele

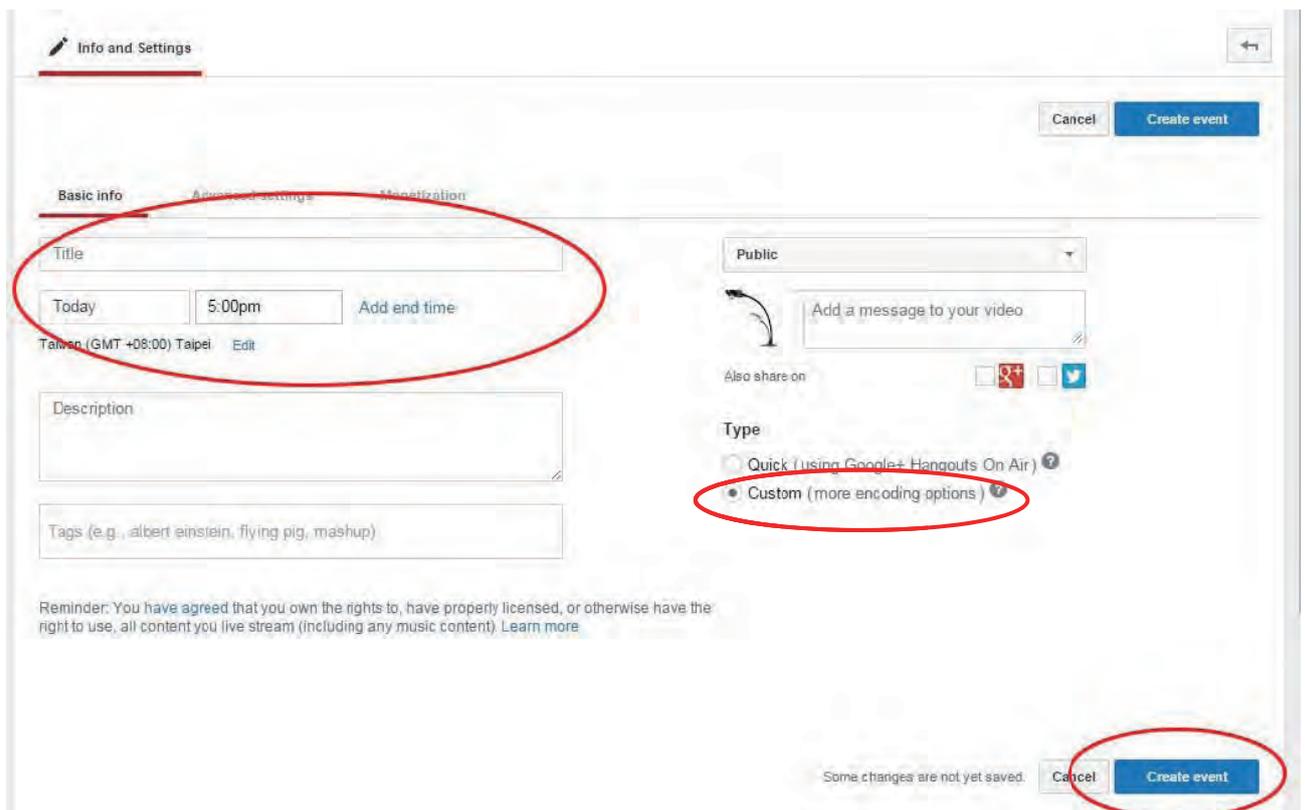
Enter your 6-digit verification code

10.3.2 ライブイベントの作成

- ライブイベントを作成する（新しいイベントをスケジュールに入れる）



- Type は [Custom] を選択する
開始時間と終了時間、イベント名を入力し [Create event] をクリックする



- コンテンツキャプチャー設定内の基本撮取（Basic ingestion）ビットレートを選択する
720P以上のビットレートは推奨されていない
- [Select encoder] は [Other encoders] を選択

Already have Wirecast for YouTube? Get the version 5 update for Mac

VS-LC101 Live

Main Camera Add a Camera

Thumbnail

Please upload as large an image as possible (suggested: 1280x720) since the image embedded on other sites. You can upload a JPG, GIF, BMP, or PNG file. Maximum



Choose maximum sustained bitrate of your encoder *
Select a range that corresponds to the maximum sustained output your encoder provides.

Basic ingestion
500 Kbps - 2000 Kbps (480p) ▼

Custom ingestion ?

Select your encoder
YouTube Live provides support for a variety of encoders. Select one of the encoder options below and

1. Configure your encoder
Recommended settings ?
2. Copy and paste into your encoder
Enter the stream names and URLs in the configuration options of your encoding software.

Stream Name

Primary Server URL

- [Copy and paste into your encoder] の下に [Stream Name] と [Primary Server URL] があるので、データをコピーしてVS-LC102に貼り付ける

2. Copy and paste into your encoder
Enter the stream names and URLs in the configuration options of your en

Stream Name

Primary Server URL

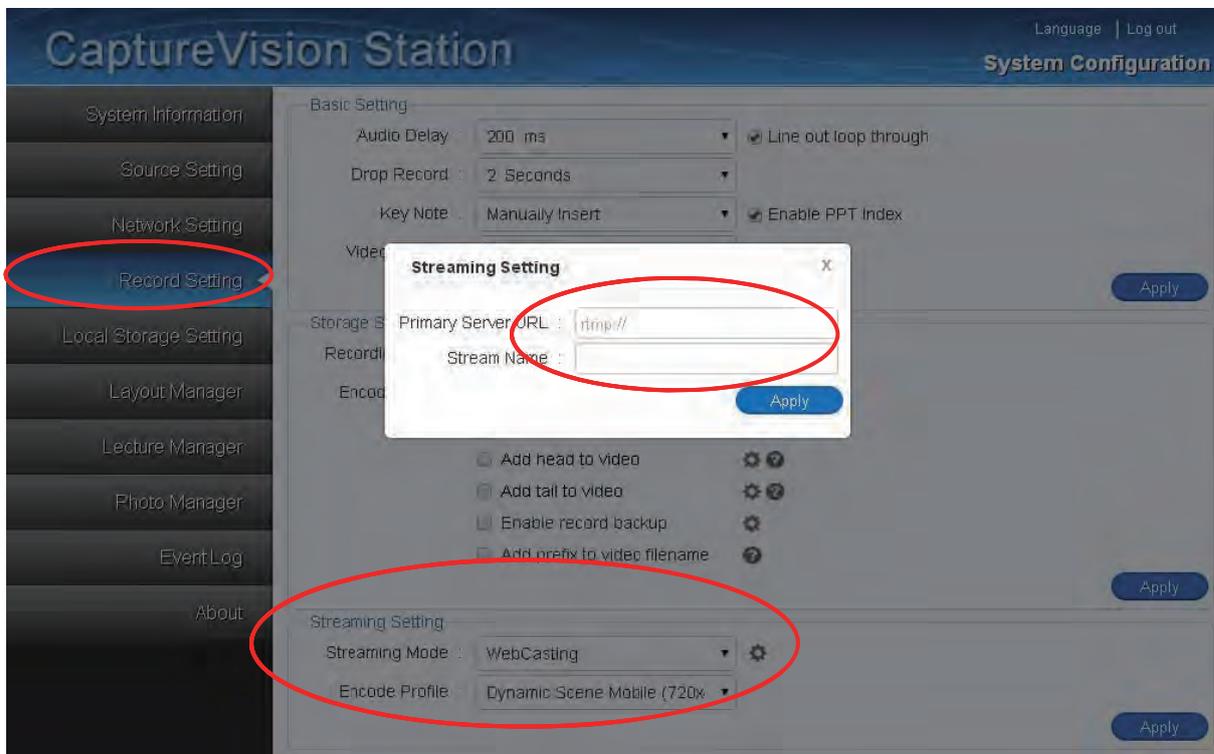
10.3.3 VS-LC102の設定

- Webを開き、VS-LC102のシステム管理ページにログインする
- **[Record Setting]** ページを開き、下記のように設定変更する；

Streaming Mode : WebCasting (Web放送)

Encode Profile : Dynamic Scene SD (728 x 480)

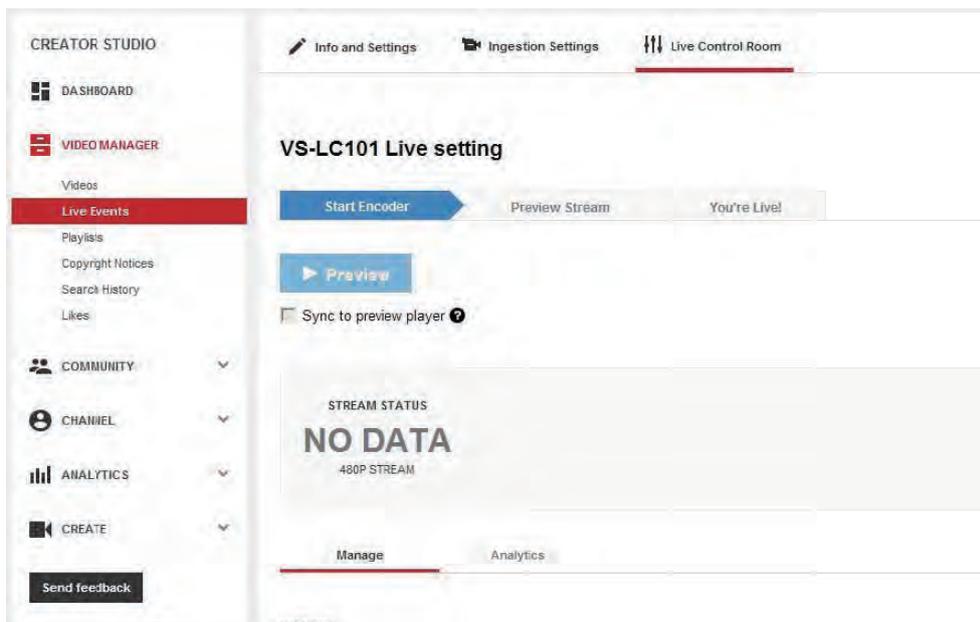
* この設定はYouTubeの **[Basic ingestion]** と合わせる必要があります



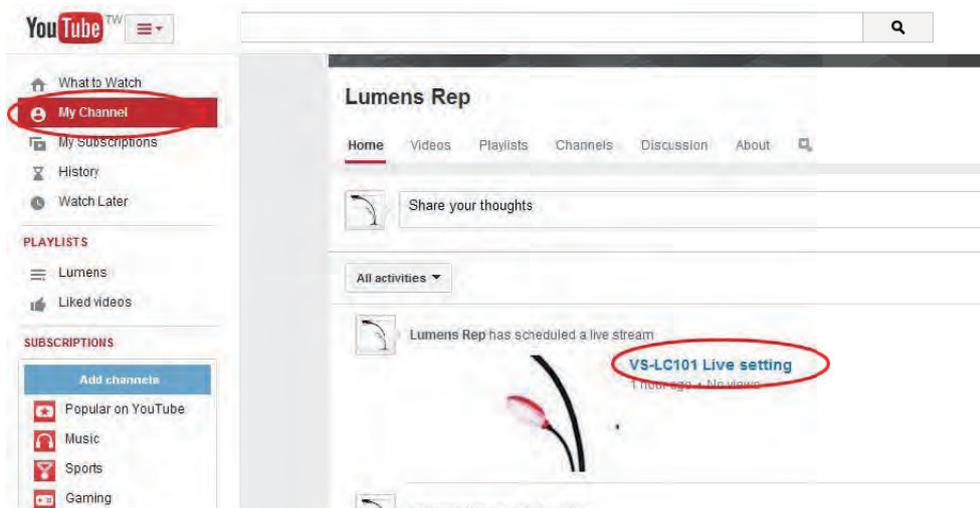
-  を押してURLを入力：メインサーバーウェブサイトとストリーミングネーム（例）
Primary Server URL: <rtmp://a.rtmp.YouTube.com/live2>
Stream Name: LadibugUS.k6k4-qgsj-vq32-46mw
- システム管理ページをログアウトする
- オンラインディレクターやリモコンを使用して、VS-LC102のレコーディング機能を使用する

10.3.4 ライブストリーミングを開始する

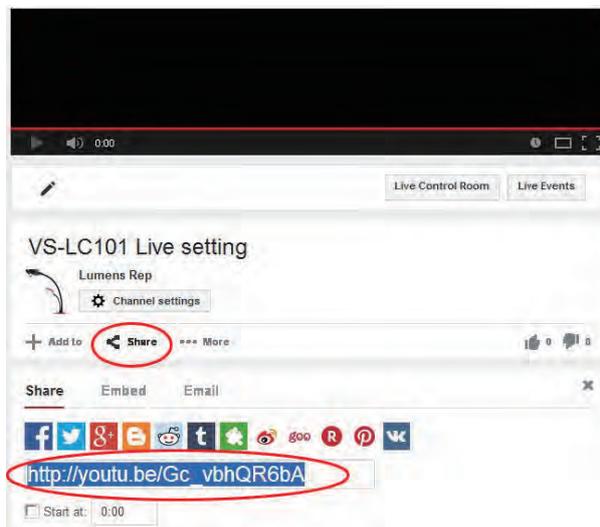
- YouTubeの [Video manager] に戻り [Live Control Room] を開く
このページではプレビューの確認やライブストリーミングの開始を行う



- [My Channel] に戻り、右側でストリーム設定のスケジュールを確認する



- クリックして [Share] を選択し、共有のリンクを確認する
他のユーザーはこのリンクによってチャンネルを閲覧することができる



10.4 キーノートの挿入・使用

レコーディング中、動画検索用にインデックスのマークをつける

10.4.1 キーノートを挿入する

VS-LC102は手動追加、自動の適時選択、リモコンのPPT、そして他のインデックスマーク方法を提供している

10.4.1.1 手動追加

- リモコンまたはパネル：●を押してレコーディング開始
- リモコンの [C] を押してキーノートを挿入する

10.4.1.2 自動追加

- Webを開き、VS-LC102管理ページにログインする
- **[Record Setting]** ページを選択し、設定を下記のように変更する
Key Note：キーノート追加の時間間隔を選択する
Enable PPT Index：機能選択でPPT Indexと連動し、自動でキーノートを追加する
- 右下コーナーの **[Apply]** をクリックして設定を適用する
- Web管理ページをログアウトする
メモ：設定完了後、レコーディング開始時にキーノートがプリセットの時間間隔で追加されるようになります。

10.4.1.3 PPT Index

PPT再生中、キーノートは自動で追加されますが、PPTソフトウェアで管理する必要があります。LUMENSのWebサイトからソフトウェアをダウンロードしてください。詳しくは [10.5 PPTのインストールと操作](#) を参照

- PPT Indexを開き、 をクリックしてVS-LC102を検索する
- ダブルクリックでVS-LC102を開く；
* 接続が完了しプログラムが作動するまでウィンドウは閉じないようにしてください
メモ：複数のVS-LC102を使用する場合、接続するVS-LC102のIPアドレスを確認する
- PPTファイルを開く
- VS-LC102がレコーディング開始する
- プレゼンテーションが終了したらレコーディングを停止し、PPTを閉じて続けてPPT接続を止める

10.4.1.4 オンラインディレクターによる追加

上記のほか、オンラインディレクター管理を使用してキーノートを挿入できる
詳しくは [8.2.3 キーノートの挿入](#) を参照

10.4.2 インデックスを修正する

管理ページにログインし、キーノート名の修正・削除を行う
[7.2.11 レクチャーキーノートを編集する](#) を参照

10.4.3 キーノートを使用する

動画再生の際、下記のようにキーノートを切り替えてラベル付きの段落に直接ジャンプする：

1. 連続して段落を切り替える：リモコンの   ボタンを押して前後のキーノートを選択する
2. 特定の段落に切り替える：リモコンの  ボタンを押すと映像キーノートが出るので [▲▼] でキーノートを選択して [OK] を押す

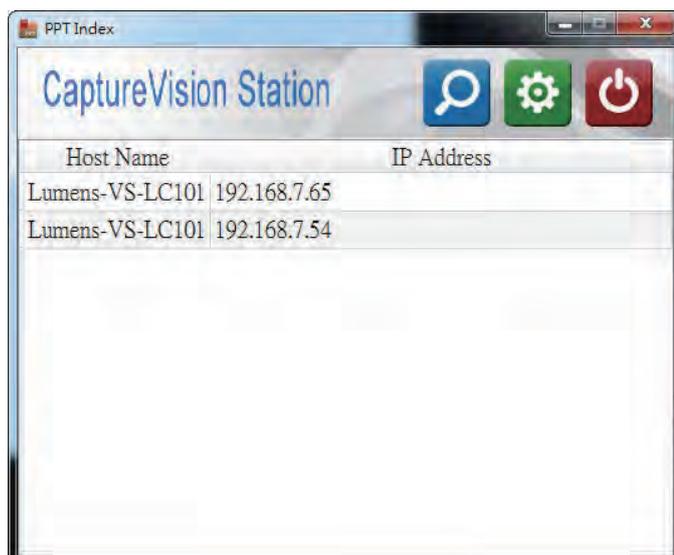
10.5 PPTのインストールと操作

10.5.1 インストール

- LumensのWebサイトから **PPT-Indexer** のソフトウェアをダウンロードする
- ダウンロードファイルを解凍し、[**PPT-Indexer-Setup-vxx**] をクリックする
- インストールウィザードが作業プロセスをガイドしてくれるので画面の指示に従ってインストールを行う

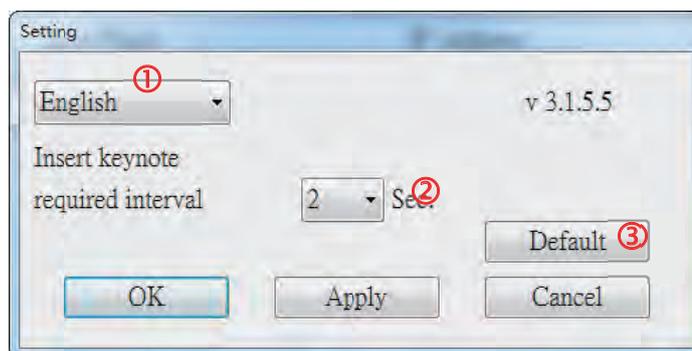
10.5.2 インターフェイスについて

- メイン画面



- 1 **Device List (デバイスリスト)** : 使用できるVS-LC102のリスト
- 2 **Discovery (ホスト検索)** : 使用できるVS-LC102ホストを検索する
- 3 **Settings (設定)** : スライド変更後にキーノートを追加するため言語と遅延時間を変更する
- 4 **Power (電源)** : ソフトウェアを閉じる

● 設定画面



- 1 **言語を変更する** : English (英語) Traditional Chinese (繁体字中国語) Simplified Chinese (簡体字中国語) をサポート
- 2 **遅延設定** : スライド変更後にキーノートを追加するときの遅延時間を設定する
- 3 **デフォルト値にリセットする**

Chapter 11 トラブルシューティング

ここではVS-LC102を使用する際に起こりうる問題について取り上げます。
不明な点に関連の章を参照し記載のソリューションに従ってください。それでも問題が解決しない場合には代理店またはサービスセンターにご連絡ください。

No.	問題	ソリューション
1.	電気信号なしにブートする	電源コードを差し込んでいるか確認する
2.	出力画像が出ない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源をチェックする 2. 入出力デバイスのケーブルがたるんでいないかチェックする 3. ケーブルを取り替えてそれに欠陥があるか確認する 4. 入力ソースが正しくセットされているか確認し、5.2.4 設定（映像入力）を参照する
3.	4台のVC-A20Pをネットワークに接続するとライブストリーミング機能にラグが起こる	<p>ライブストリーミングはネットワークを介して伝送されるので、4台のネットワークカメラを接続すると回線不足を招く可能性があります</p> <p>VC-A20Pの設定を変更してください：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Resolution: 1920x1080 ● FPS: 30fps ● Bitrate: 2M
4.	ディレクターにログイン後出力画像が出ない	<p>ブラウザーによってファイアーウォールの制限がかかる場合があります</p> <p>ソフトウェアを取り込むためファイアーウォールのパーミッションを変更してください</p> <p>ブラウザー設定は次の通り：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Start] → [Control Panel] をクリック、検索フィールドに [Firewall] を入力し [Windows Firewall] をクリック 2. 左パネルの [Allow an app or feature through Windows Firewall] をクリック 3. [Change Setting] をクリック（管理者の権限が必要） 管理者パスワードや確認を求められたら、パスワードを入力するなど適宜対応する 4. チェックボックスからプログラムを選択し、承認の [Confirm] を押す <p>上記の設定がうまくいかない場合は、アンチウイルスソフトを一時的に停止してプログラムがアンチウイルスによって妨害されないようにします</p>
5.	VS-LC102が接続されるとシステムコンフィギュレーションやディレクターにログインできない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザーネームとパスワードをチェックする（大文字を認識するので注意する） 2. ブラウザーバージョンをチェックする 4 システム条件 でサポートしているバージョンを確認する
6.	“Failed to record, please check storage device or turn-on streaming.”のエラーメッセージが出てUSBに記録できない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ローカルストレージの設定と、ポータブルディスクがフォーマット済みか確認する 5.2.4 設定（ハードディスクのフォーマット化） を参照 2. 接続方法をチェックする（PCはルーターでVS-LC102に接続され、IPアドレスは同じネットワークセグメントに置かれている必要があります） 3. 他のポータブルディスクでテストする 4. ネットワークストリーミングを解除する：ブラウザーを開きシステムコンフィギュレーション/ディレクターにログインする レコーディング設定を変更し、ストリーミングモードの選択を外す
7.	VS-LC102をノートPCに接続すると“HDCP Lock”と表示される	<p>ノートPCのデフォルト出力にHDMIのHDCP暗号化プロトコルが設定されている場合があるので、ノートPCをVGA出力に設定する</p>
8.	VS-LC102をルーターで自分のPCに接続せずにシステムコンフィギュレーション/ディレクターにアクセスできますか	<p>できます - しかしPCネットワークをVS-LC102のWANターミナルに接続する前にVS-LC102のIPアドレスとPCを、手動で同じネットワークセグメント下に（例：192.168.0.x）調整する必要があります</p> <p>メモ：169.172.x.x は無効なネットワークセグメントなので使用できません</p>

9.	リモコン / パネルキーが反応しない	リモコン / パネルキー はシステムにログインしているときは機能しません
10.	リモコンは反応しないがパネルキーは反応する	リモコンは赤外線信号を使用しています 赤外線信号の強いデバイス（赤外線デジタルホワイトボード等）を近くに置いている場合リモコンを干渉してしまう可能性があります VS-LC102をそのデバイスから離して置くようにしてください
11.	システムコンフィギュレーション内でレクチャーを選択した際レクチャー情報が提示されない	システムはレクチャー情報を見るのに FireBreadthed VLCプラグイン を使用します レクチャー情報がロードされないということは、このコンポーネントがインストールされていない可能性があります Chapter 8 を参照してディレクターにアクセスしインストールしてください
12.	ユーザーネーム / パスワードを忘れた	小さいスクリーンドライバーで本体リア面のリセットボタン(Reset Button)を数秒間長押しして工場出荷時の設定に復元する
13.	PPT-indexでPPTを再生している際、キーノートの自動追加ができない	ブラウザーを開き、 管理ページ(administration page) にログインする [Record Setting] ページに切り替え、 [Start PPT Index] が使用可能か確認する [Start PPT Index] が有効なのを確認したら設定適用後に管理ページをログアウト PPT再生・レコーディングを再度実行して確認する
14.	FTPサーバーに切り替えた後映像が自動的にアップロードされない	VS-LC102はFTPにアップロードされた映像をマークしますが、自動的に再度アップロードはしません 他のFTPに映像をアップロードするには、FTP設定完了後に手動でファイルをアップロードできます 詳細は 6.2.13 FTPにファイルをアップロードしたい を参照
15.	スケジュールマネージャーのレコーディング予約が可能な期間は？	6ヶ月先までレコーディングの予約が可能です
16.	手動でレコーディングを実行しているとき、事前に予約したレコーディングは同時にアクティブとなるか	いいえ - マニュアル操作中のレコーディングが中断されることはありません (スケジュールに組んだレコーディングよりも手動のレコーディングが優先されます)
17.	電源オフの状態ですべて予約したレコーディングが開始するときCaptureVisionは自動で起動しレコーディングを開始するか	いいえ - 予約したレコーディングはCaptureVisionステーションがONになっているときのみ実行されます
18.	レコーディングの最大持続時間は	レコーディング1つあたり最大8時間です

添付書類 1

下記のアイコンはネットワークやディスプレイの状態、現在のモードを表すアイコンです。

Icon	名称	機能説明
	ネットワークが接続されていない	LAN接続失敗です
	ネットワークが接続されている	LAN接続成功です
	自動ディスプレイスクリーン	出力デバイスを自動検知し、最適なスクリーン解像度に設定します
	ディスプレイ 16:9	ディスプレイスクリーン解像度：フルHD (1920 x 1080) / HD (1280 x 720) 出力
	ディスプレイ 5:4	ディスプレイスクリーン解像度：XGA (1024 x 768) 出力
	ディスプレイ 4:3	ディスプレイスクリーン解像度：SXGA (1280 x 1024) 出力
	ディスプレイの失敗	ディスプレイ解像度のサポート不足による、ディスプレイスクリーン出力の失敗 リモコンのディスプレイ比率機能で調整も可能です
	ハードディスクが無い	ローカルレコーディング用のハードディスクが取り外されています - 確認してください
	ハードディスクがフル	ローカル・ハードディスクの容量不足 - 確認してください
	HDデジタルコンテンツ保護	信号のソースはHDCPに保護されています
	管理者モード	システムコンフィギュレーションページにユーザーログがあり パネルとリモコンの操作許可が取り消されます
	オンラインディレクターモード	オンラインディレクターページにユーザーログがあります
	ストリーミングレコーディング	ネットワークストリーミングのレコーディングモードをスタートアップします
	ローカルレコーディング	ローカルのハードディスクに記録します
	一時停止	レコーディングを一時停止します レコーディングが再開される前に映像と音声のデータは失われます
	リモコン無効	リモコンのこのボタンは現在機能しません
	スナップショット	現在のディスプレイをキャプチャーします
	チャンネル拡大	現在のチャンネルがフルスクリーンモードになります

	フレームに合わせる	チャンネルをズームしてフレームに合わせる
	幅を合わせる	チャンネルをズームしてフレームの横幅に合わせる
	高さを合わせる	チャンネルをズームしてフレームの高さに合わせる
	幅と高さを合わせる	チャンネルをズームしてフレームの幅と高さ両方に合わせる
	元の画像	無調整のチャンネル出力ソース画像
	Manual knowledge point	レコーディング中のリモコンによる手動挿入情報ポイント
	自動キーノート	プレゼンテーションインデックスソフトウェアによる自動挿入・自動トラッキングマウント
	USBエクスポートドライブを取り出す	エクスポート完了後USBエクスポートドライブを取り出す